

令和5年度 アルザにいがた主催事業実施状況

◆は、企画委員担当講座

No.	事業名・講座名	回数	テーマ・内容（開催日）	対象・募集人数	応募者数	延参加者数	参考内訳			平均参加者数	保育	満足、まあまあ満足割合	
							男	女	その他				
◆ 1	女性の生き方講座	3	もっと知りたい！私のカラダとココロ～心地よい“わたし”を見つけるために～ (9/7・14人 9/14・9人 9/21・9人)	女性20人 【保育8人】	18人	32人	—	32	0	10.7人	7	100.0%	
2	男性の生き方講座 (子育て期)	3	バパスキルUP！幸せがふえる家事育児 (9/2・19人 9/16・18人 9/22・19人)	0歳から小学生までのお子さんを持つ父親各24人 【保育8人】	27人	56人	56	—	0	18.7人	14	95.8%	
3	女性の起業を支援する講座	3	女性のための起業応援セミナー～入門・仲間づくり編～ (7/14・27人 7/21・21人 7/28・16人)	起業を考えているまたは起業に関心のある女性25人【保育8人】	44人	64人	—	64	0	21.3人	9	100.0%	
◆ 4	男性の生き方講座 (定年期)	2	老いの不安を謳歌して～見せどころ、勘どころ、使いましょう～ (1/18・20人 1/25・18人)	定年前後の男性または定年後のことを考えている男性25人【保育5人】	23人	38人	38	—	0	19.0人	0	76.5%	
◆ 5	ジェンダーで社会を考える講座	3	アンコンシャスバイアスとジェンダー～ケア役割・ケア労働から見ること～ (2/3・37人 2/17・22人 3/3・23人)	どなたでも35人 【保育15人】	46人	82人	12	70	0	27.3人	3	93.5%	
6	メディアリテラシーについて考える講座	1	知っておきたい「自分の言葉で話す」大切さ～ジェンダー×メディアリテラシー～ (10/21・15人)	どなたでも35人 【保育8人】	20人	15人	6	9	0	15.0人	1	78.6%	
7	再就職支援講座	2	自分らしい働き方を見つけるセミナー【オンライン開催】テーマⅠ：多様な働き方とルール (10/14・25人 会場14人、オンライン11人 10/28・22人 会場14人、オンライン8人)	これから再就職やもっと違う働き方を考えたい女性20人 【保育5人】	33人	47人	—	47	0	23.5人	10	97.0%	
		2	自分らしい働き方を見つけるセミナー【オンライン開催】テーマⅡ：50代からのキャリアデザインを考える (12/2・39人 会場26人、オンライン13人 12/9・27人 会場17人、オンライン10人)	これから再就職やもっと違う働き方を考えたい女性20人 【保育5人】	42人	66人	—	66	0	33.0人	2	100.0%	
		5	再就業を目指す女性、正規雇用を望む非正規雇用の女性のための個別相談会【オンライン開催】 (12/12～12/16 会場15人、オンライン1人)	再就職やもっと違う働き方を考えたい女性各日3人程度 【保育あり】	18人	16人	—	16	0	3.2人	3	100.0%	
8	相談室連携講座	5	私を大切にするための自己表現講座 (5/26・23人 6/2・21人 6/9・20人 6/16・19人 6/23・21人)	女性20人 【保育8人】	27人	104人	0	104	0	20.8人	15	85.7%	
9	相談に携わる方のための講座	1	生きづらさの根底にあるものは～ポリヴェーガル理論に学ぶ～【オンライン開催】 (9/23・59人 会場34人、オンライン25人)	各種相談に携わっている方、対面30人、オンライン30人	60人	59人	6	53	0	59.0人	1	80.9%	
10	アルザdeカフェ	2	最も近くて遠い「家族」～程よい距離でつき合うには～ (2/16・16人 2/23・17人)	どなたでも各20人 【保育7人】	26人	33人	10	23	0	16.5人	3	93.3%	
11	男女共同参画講座 1	1	男女共同参画研修【オンライン開催】 (5/24・34人 会場19人、オンライン15人)	アルザにいがた企画委員、アルザフォーラム実行委員、男女共同参画地域推進員、公民館職員、地域推進員事業担当の地域（総務）課職員 【保育5人】	35人	34人	11	23	0	34.0人	1	96.0%	
12	男女共同参画講座 2	1	アルザdeシネマ「ヒキタさん！ご懐妊ですよ」 (6/10・153人)	小学生以上200人 【保育8人】	221人	153人	37	116	0	153.0人	4	91.9%	
13	男女共同参画講座 3	1	政治分野の男女共同参画～ハラスメントの実態から考える～【オンライン開催】 (9/2・21人 会場16人、オンライン5人)	どなたでも、対面30人、オンライン20人	27人	21人	5	16	0	21.0人	0	94.1%	
											講座参加者数	820	92.5%

14	男女共同参画講座 4	1	SDGs「ジェンダー平等」展 開催期間 10/7・8 会場 ラブラ万代 2階通路 展示内容 開志専門職大学アニメ・マンガ学部との連携企画 ジェンダーをテーマにしたイラスト等		—							—
15	登録団体交流会	2	第1回（7/20） 登録団体活動事例発表 （新潟女性史クラブ） グループワーク（「ジェンダーカルタを作ろう」男女共同参画に関心が薄い人に、ジェンダーについて考えるきっかけとなるようなカルタを作成する。）	団体16人（女性12人、男性4人）								0
16		2	第2回（12/10） 講義（「ジェンダーについて」） グループワーク（「こういう事例をどう考えますか？」ジェンダーについての課題を話し合う。）	団体15人（女性11人、男性4人）								0
	情報啓発紙 「アルザ」	4	年4回 発行（7月・10月・2月発行済み）	7・10・2月号 各1,000部発行 3月号 1,500部発行 （市内各公民館・県女性センターほか）								—
	アルザフォーラム		アルザフォーラム2023「分かりあうことから始めよう～一人ひとりの幸せのカタチ～」開催期間11/11～19 □基調講演「男性学の視点から誰もが生きやすい社会を考える」（11/12） 田中俊之さん □分科会「その生きづらさはどこからきてる？～見えないしぼりを考える～」（11/19） □大学連携事業「いろんな年代で考えよう！ジェンダーについて」（11/26） □DVD上映会（11/17・18） □ワークショップ（20企画） □協賛事業（2企画）	延べ参加者1,011人 （ワークショップ、協賛事業を含む）								10

※No.2男性の生き方講座（子育て期）、No.5ジェンダーで社会を考える講座、No.7再就職支援講座（セミナー）、No.10アルザdeカフェは単発での参加可としたため、満足度は各回の満足度で集計

講座プログラム

- 事業名：令和5年度 男性の生き方講座（定年期）
 □講座タイトル：老いの不安を謳歌して ～見せどころ、勘どころ、使いましょう～
 □対象：定年前後の男性または定年後のことを考えている男性
 □定員：25人 応募多数の場合は抽選
 □保育：5人

学習目標		<p>身近な問題である身寄りなしの問題を知ること、家族や配偶者、地域の人たちとの関わり方を見直す機会とする。</p> <p>また、ボランティア活動の現状を知り、第二の人生において自分に何ができるのかを考え、ジェンダーの視点を持って問題に関わっていく意識を育む機会とする。</p>			
行動計画		1- (1) -①-イ、1- (3) -①-ア、4- (1) -③-ア、4- (1) -③-イ、4- (2) -①-エ			
回	日時	タイトル	内容	方法	講師・助言者
1	1月18日 (木) 13:30～ 15:30	身寄りなし 他人事では ありません	他人事ではない身寄りなし問題について、現状を理解し、家族や配偶者、地域の人たちとの関わり方について考え直す。	講義 グループ ワーク	NPO 法人身寄りなし問題研究会 代表 須貝 秀昭さん
2	1月25日 (木) 13:30～ 15:30	地域との関わり ボランティアへの 一歩	ボランティア活動について実体験を聞くことで、自分には何ができるのかジェンダーの視点をもって具体的に考え、行動するヒントを得る。	講義 グループ ワーク	marugo-to (まるごと) 代表 岩崎 典子さん

全2回
連続講座

参加費無料
保育あり

老いの不安を謳歌して

～見せどころ、勘どころ、使いましょう～



会場

万代市民会館 4階403・404大研修室
新潟市中央区東万代町9-1 ※駐車場はありません。

申し込み方法

裏面をご覧ください。

対象・定員

定年前後の男性 または 定年後のこと考えている男性 25人（応募多数の場合は抽選）

保育

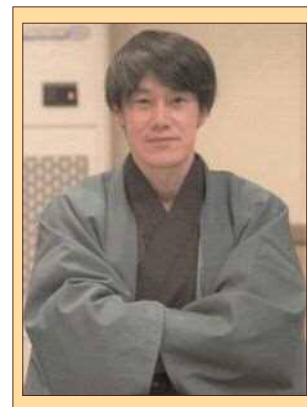
5人 生後6か月以上の未就学児。要申込み（応募多数の場合は抽選）

第1回

令和6年1月18日（木）13：30～15：30

「身寄りなし 他人事ではありません」

他人事ではない身寄りなし問題について、現状を理解し家族や配偶者など周りの人たちとの関わり方について考えてみませんか？



講師：須貝 秀昭さん

（NPO法人身寄りなし問題研究会代表）

第2回

令和6年1月25日（木）13：30～15：30

「地域との関わり ボランティアへの一歩」



講師：岩崎 典子さん

（marugo-to（まるごと）代表）

ボランティア活動について実体験を聞き、第二の人生において、自分に何ができるのか、考えてみませんか？

問
合
せ
申
込
み

① 新潟市オンライン申請システム（e-NIIGATA）→

② 電話（受付時間：8:30～17:30 月曜～金曜）

☎ 025-246-7713 1月4日（木）締切

【主催】新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」



講師紹介

第1回 須貝 秀昭さん

NPO法人身寄りなし問題研究会 代表

高齢者の相談窓口をしているときに「身寄り」問題を感じ、平成29年に有志で「身寄りなし問題研究会」を発足し、代表を務める。「身寄りなし」軸にLGBT、依存症、ACP、風俗、生活保護など様々な社会課題の発信に取り組んでいる。今年NPO法人化したのをきっかけに本業を退職し100日かけて沖縄から日本最北端宗谷岬まで徒歩で日本縦断しながら「身寄り問題」の啓発活動を行ったパワフルな方。

第2回 岩崎 典子さん

marugo-to (まるごと) 代表

燕市出身。第一子出産まで市内の会社に勤務。出産後、ホームヘルパー養成講座を受講して福祉の世界へ入り、訪問介護事務所でサービス提供責任者、管理者を経て退職。6年前に「人生の伴走者」を理念に掲げ、法人を立ち上げる。独立型の介護支援専門員として仕事をする傍ら、多機能型拠点として、ボランティア団体「marugo-to(まるごと)」を平成30年に立ち上げ、社会福祉協議会の地域共生型めぐり事業を受託。また、民生委員・児童委員としても地域の方々と共に活動している。

お申込み方法 1月4日(木)締切

電話で

☎ 025-246-7713

受付時間：8:30～17:30
月曜～金曜（祝休日は除く）

PCから

新潟市役所HPから

🔍 アルザにいがた × を検索

〈新着情報〉の講座情報へ

スマートフォンから



二次元コードを読み取ると「新潟市オンライン申請システム e-NIIGATA」につながります

主催・問い合わせ

アルザにいがた
新潟市男女共同参画推進センター

〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)

TEL:025-246-7713

FAX:025-246-8080

E-mail:alza@city.niigata.lg.jp

受付時間:月曜～金曜8:30～17:30(祝休日は除く)

アルザにいがたHP



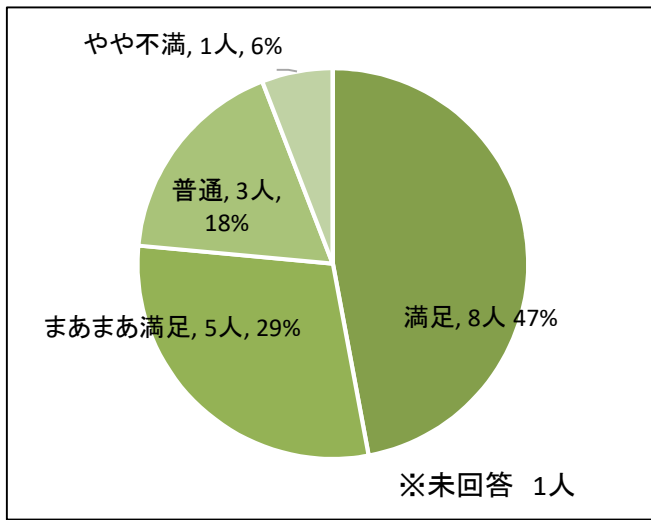
◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。



令和5年度 男性の生き方(定年期)講座
「老いの不安を謳歌して ～見せどころ、勘どころ、使いましょう～」

日	テーマ	講師	受講者数
1/18 (木)	身寄りなし 他人事ではありません	須貝 秀昭さん (NPO法人身寄りなし問題研究会代表)	20
1/25 (木)	地域との関わり ボランティアへの一歩	岩崎 典子さん (marugo-to(まるごと)代表)	18

問1 講座はいかがでしたか。



- ◆応募総数: 23人
- ◆延べ参加人数: 38人
- ◆平均受講者数: 19人
- ◆アンケート回答者数: 18人

◆満足+まあまあ満足 76.5%

問2 講座の感想

【講座全体】

◆満足

- 身寄りなし問題、ボランティア共に自分にとって大きな問題として再認識する機会になりました。
- 経験者の話は良い。自分にできるか心配だが。
- 高齢になり、老いを意識する事が多くなり、一人身の事が非常に参考になりました。ありがとうございました！
- 今後の生活の参考になりありがとうございました。
- これからの生き方にとても参考になりました。大変ありがとうございました。

◆まあまあ満足

- これから自分にやる事のきっかけができた。
- 高齢男性の「社会的お荷物」化を防ぐことは大きな社会的課題ですね。
- 老いの不安は、現在取り組んでいる内容なので大変良かった。
- グループ討議の時間がもう少し欲しかった。
- 講師の方の話は大変おもしろかったです。

◆普通

- 第2回の講義の主旨がわからなかった。
- 新たな発見はなかった。

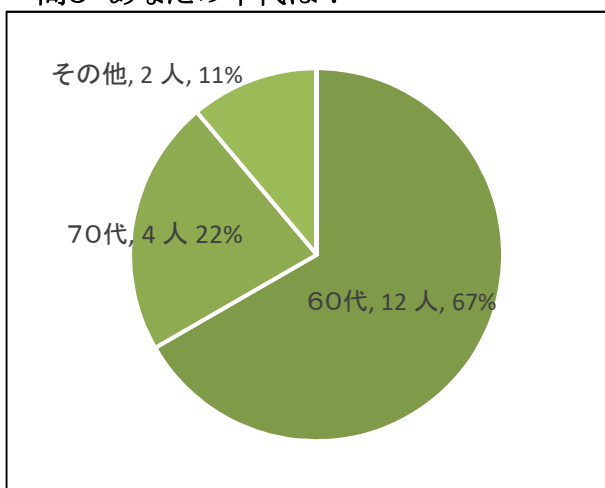
【第1回】

- ・「身寄りなし」に希望が持てるようになった。
- ・「身寄りなし」が怖くなくなった。
- ・民生委員です。一人暮らしの方の火葬の許可をしました。市民後見人講座を受講、事例がよく分かりました。
- ・大変良い事を聞き、勉強になりました。
- ・身寄り問題、少し安心です。福壇BAR「一刻」飲みに行きます。
- ・これから高齢になり、身寄りなし問題はわが身に振りかかってくる問題だと思う。
- ・「民間の身元保証会社」を公の許認可制としさらに収益性を増大させる方向での働きかけは有効ではないでしょうか。
- ・身寄りなし問題はいろいろある事がわかりました。
- ・磯野家(サザエさん)一家の30年後は他人事でない。
- ・「身寄りなし」ということについて、より身近に考えることができました。ありがとうございました。
- ・軽快な口調での講義であつという間に終わりました。身につまされる課題でこれから考えていかなければならないと思いました。
- ・私も身元保証人になっていますので身近な問題でした。
- ・とても精力的な活動をしている方だと思いました。
- ・自分自身の身寄りなし問題の対応を真剣に考えていきたい。身近な事となった気がする。
- ・現場体験した須貝さんのあつい講義、心にささりました。といって、今できることはないですが、そのうち古町9の「一刻館」に行きたいと思っています。
- ・有意義な内容でした。
- ・遊び心がすごい！！楽しかった。
- ・身寄りなし問題が大きくなり、行政機関が取り組んでくれるようになるといい。
- ・楽しく興味深い講義でした。ひと事ではなく、近い将来、自分に関わってくる問題として心構えや準備しておかなければならないと感じました。

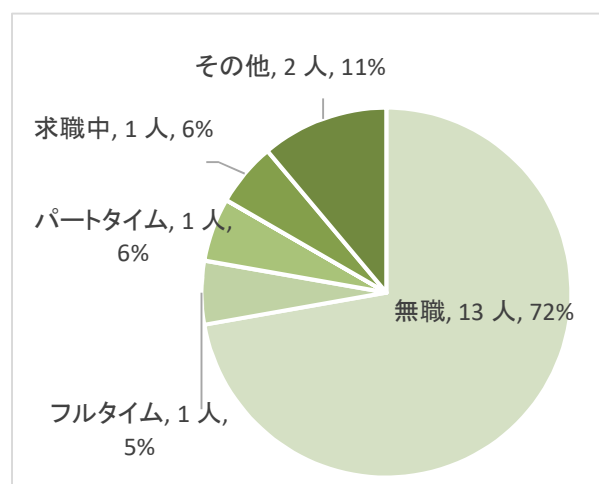
【第2回】

- ・この様な地域貢献方法があることを知った。
- ・「まるごと」の実例(一例)は理解しましたが、ボランティア活動に踏み出すより具体策をご教示いただけただけなら尚、良かったと思います。
- ・ボランティアの意味、目的がなんとなく理解できた。
- ・親族に「ひきこもり」がいます。こんな所が身近にあれば「いいな」と思います。
- ・民生委員、保護司をし、朝は子どもたちの見守りをして、15年くらいたちます。一日の活動が定着している。自分自身が楽しんでいる。
- ・ボランティアについて、深く考えることができた。
- ・皆さん、楽しそうに集まっている居場所、すばらしいと思います。ぜひ長く続けて下さい！
- ・ボランティア活動に踏み出す第一歩がきれる気がして来ました。
- ・ボランティアの関りとか分かりやすくありがとうございました。

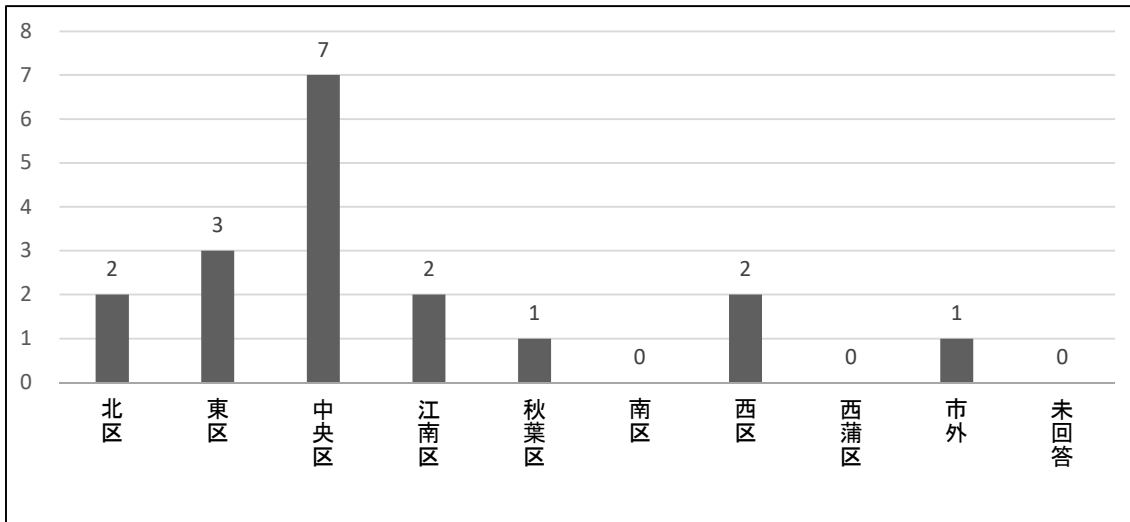
問3 あなたの年代は？



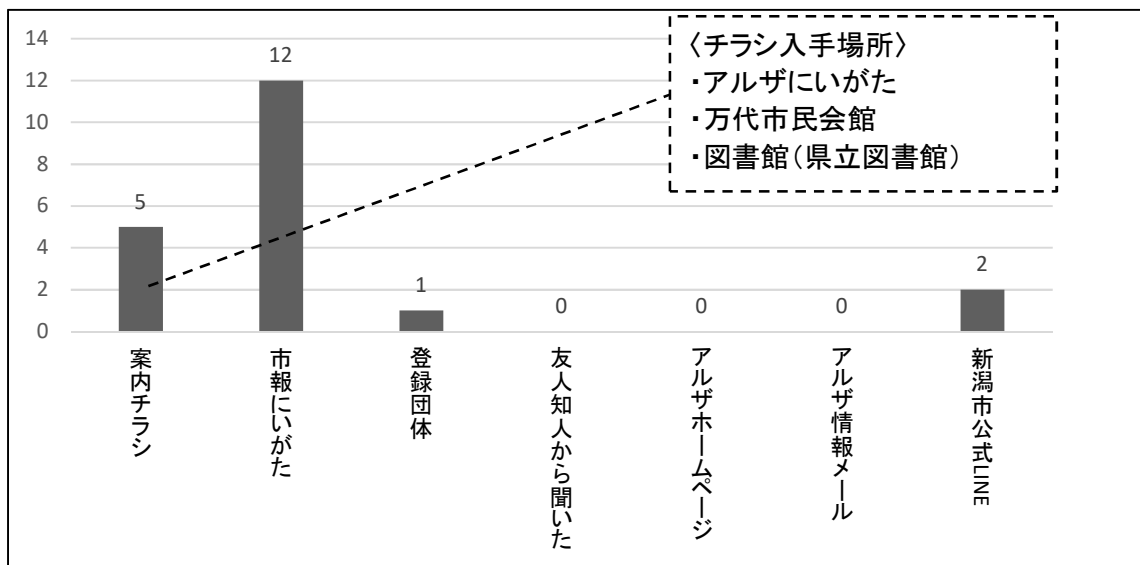
問4 あなたの現在の状況



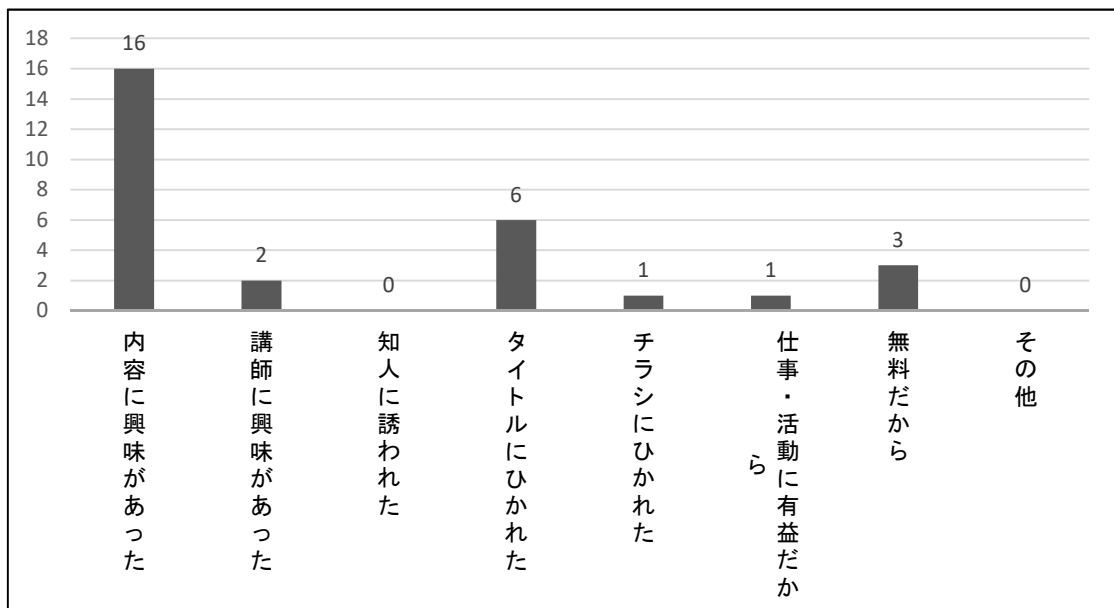
問5 あなたのお住まいは？



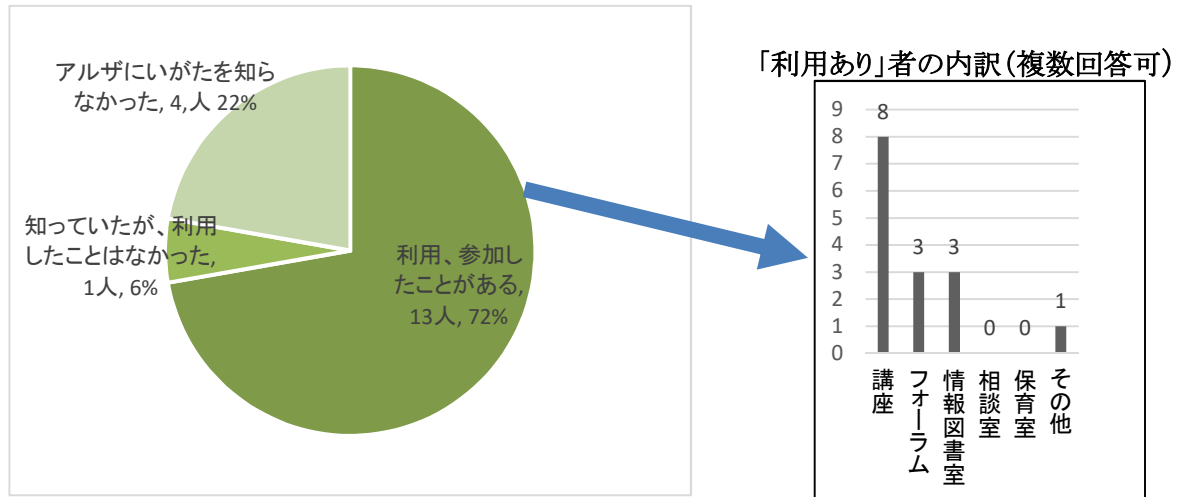
問6 今回の講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)



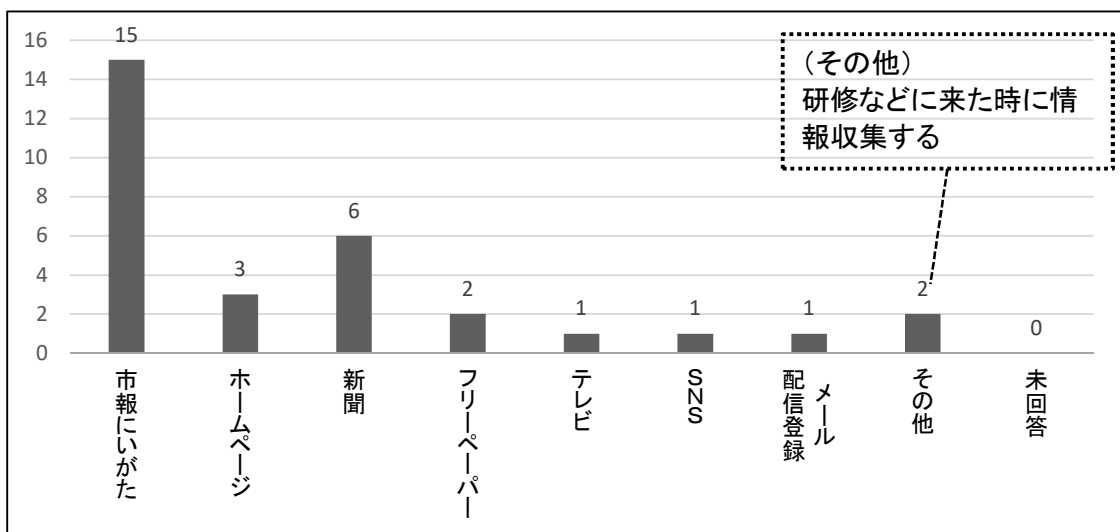
問7 参加された動機は何ですか？(複数回答可)



問8 今回以前にアルザにいがたを利用したことがありますか？



問9 アルザに限らず、普段あなたは講座に関する情報をどこから入手していますか？
(複数回答可)



問10 男女共同参画について、今後企画してほしい内容や講師、またアルザにいがた全体についてのご意見ご感想など、ご自由にお書きください。

- 電子図書を増やしていただきたいと思います。
- 高齢者問題・自宅で死にたい人のための情報
- 認知症に関する講座を是非開催してほしい。

講座を振り返って(企画委員反省会より)

【第1回】

- 一般の人向けとしてはテーマが重かったのかもしれない(介護・看護職の人たちが対象ならもっと申し込みがあったかもしれない)
- 講師が当日、配付資料の内容について講義を早めに済ませ、後半に打合せで聞いていなかった内容について話したが、事前打合せの時にこちらに確認して欲しかった。

【第2回】

- marugo-to(まるごと)の話が中心(まるごとを通したボランティア活動)になってしまったが、最初に一般的なボランティアについての講義をしてもらうよう、事前打合せで講師に伝えれば良かった。
- 実際にボランティア活動に参加している当事者から話を聞いたのはとても良かった。
- 参加者は話したい人が多いため、グループワークを長くして発表の場をつくることも大切だと思った。
- グループワークの時に1つのグループは何回か促しても付箋を貼ろうとしなかったが、グループワークは得意・不得意があるため、あまり強制はできないと思った。
- グループワークを主とすると地域の茶の間のようになってしまう、講座の意味が薄まるのでグループワークは適度な長さが大切だと思う。
- グループワークの進行も講師にお願いしたかった。

【まとめ】

- 1回目、2回目ともに資料と講師の話の内容がちょうど良いボリュームで良かった。
- アンケート結果の参加動機で「講師に興味があった」が少なく残念だった。(講師がもっと認知されていると思ったのに)
- どちらの講師もパワーがあって、生き方なども参考になった。
- チラシに講師の写真が入っていて良かった。

【今後に向けて】

- 申込みの時に参加動機を聞いた方が良い。
- アンケート内容を数値化したらどうか。

講座プログラム

- 事業名：令和5年度 ジェンダーで社会を考える講座
 □講座タイトル：アンコンシャスバイアスとジェンダー～ケア役割・ケア労働からみえること～
 □会場：万代市民会館
 □対象：どなたでも
 □定員：35人（抽選）
 □保育：15人（抽選）生後6ヵ月から就学前まで

学習目標		男女共同参画の取組の進展が未だに十分でない要因の一つとして、社会全体において固定的な性別役割分担意識やアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）が存在している。思い込みによる発言や認識で人を傷つけていないか、自分自身や周りの人の可能性を狭めていないかに気づくきっかけとする。 また、社会的に女性に偏りがちな「ケア」に関することを、ジェンダーの視点から「家族へのケア」と「職業としてのケア労働」に分けて掘り下げ、偏重の問題点や改善策を探る。			
行動計画		1-1-1-イ、1-3-1-ア、4-1-3-ア、4-2-1-エ			
回	日時	タイトル	内容	方法	講師・助言者
1	2/4 (日) 14:00～ 16:00	アンコンシャスバイアスって何？	<ul style="list-style-type: none"> ● アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）の意味を理解する。 ● そのバイアスをジェンダーの視点から捉えた時、どんな事象がおきているのか、また、社会が男女共同参画社会に向けて変化していこうとしているが、どんなことが妨げになっているか考える。 ● 性別によるアンコンシャスバイアスの何が問題なのか。 	対面講義	宮本 美穂さん （（一社）アンコンシャスバイアス研究所 認定トレーナー）
2	2/17 (土) 14:00～ 16:00	家族ケアとアンコンシャスバイアス～ケア役割偏っていませんか？～	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族ケアとは何か。家族ケアの負担が女性に偏っていた理由を考える。 ● なぜ女性が家族ケアを期待されるのか、なぜ女性が家族ケアを担おうとするのか、男性が家族ケアに結び付きにくいのか、その仕組み（社会的通念、アンコンシャスバイアス、社会構造など）を考える。 ● 協働するにはどうすればよいか考える。 	講師のみオンライン講義	山根 純佳さん （実践女子大学 人間社会学部 教授）
3	3/3 (日) 14:00～ 16:00	職業としてのケア労働とジェンダー～女性が多いのはなぜ？～	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育士、ヘルパーなどケア労働と言われる職種には、女性が多いのはなぜか。 ● ケアの仕事は専門性があるにも関わらず、低賃金で非正規雇用が多いのはなぜか。そこに潜むアンコンシャスバイアスを考える。 	対面講義	内藤 和美さん （お茶の水女子大学他非常勤講師）

アンコンシャスバイアスと



ジェンダー

～ケア役割・ケア労働からみえること～

アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）は日常にあふれています。無意識のうちに偏ったものの見方や発言で、人を傷つけていたり、あなたや周りの人の可能性を狭めていることはないでしょうか。アンコンシャスバイアスの基本を学び、社会的に女性に偏りがちな「ケア」に関することを、ジェンダーの視点から「家族」と「職業」に分けて考えます。

1

2月4日（日） 14:00～16:00

アンコンシャスバイアスって何？ （無意識の思い込み）

講師：宮本 美穂さん

（一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 認定トレーナー）



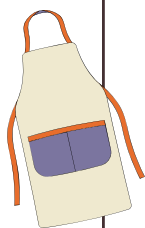
2

2月17日（土） 14:00～16:00

講師はオンライン

家族ケアとアンコンシャスバイアス ～ ケア役割 偏っていませんか？～

講師：山根 純佳さん（実践女子大学 人間社会学部 教授）

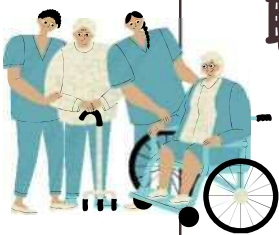


3

3月3日（日） 14:00～16:00

職業としてのケア労働とジェンダー ～ 女性が多いのはなぜ？～

講師：内藤 和美さん（お茶の水女子大学他非常勤講師）



- ◇会場：万代市民会館3階 新潟市中央区東万代町9-1 ※駐車場はありません
- ◇対象：どなたでも
- ◇定員：各35人 ※応募多数の場合は、3回連続出席できる人を優先して抽選
- ◇保育：各15人（生後6ヵ月から就学前まで）※要申込 応募多数の場合は抽選
- ◇申込：「電話」または「新潟市オンライン申請システムe-NIIGATA」（詳細は裏面）
- ◇申込締切：1月18日（木）

講師紹介

【第1回】宮本 美穂さん



一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 認定トレーナー
国家資格キャリアコンサルタント/産業カウンセラー

新潟県新潟市生まれ。自動車業界やベンチャー企業での人材育成経験を経て、フリーアナウンサーの道に。現在は「伝える仕事」を中心に学生の就職支援やキャリア講座、企業向け研修、人材育成支援、就労支援など幅広い分野で活躍中。
また、勤労者の様々な相談に応じ、若年層から高齢層に到るまで、幅広い層へのキャリア支援・メンタルヘルス相談業務を行う。

【第2回】山根 純佳さん



実践女子大学 人間社会学部 人間社会学科 教授

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了（博士・社会学）。山形大学准教授、実践女子大学准教授等を経て2022年より現職。研究分野はジェンダーと再生産/ケア労働。著書に『産む産まないは女の権利か』『なぜ女性はケア労働をするのか—性別分業の再生産を超えて』（勁草書房）など。

【第3回】内藤 和美さん



お茶の水女子大学他非常勤講師

専門はジェンダー研究。東京大学大学院医学系研究科保健学専門課程博士前期課程修了、保健学博士（東京大学）、昭和女子大学短期大学部助教授・群馬パーソンズ大学教授・芝浦工業大学男女共同参画推進室特任教授・岩手大学男女共同参画推進室特任研究員を経て、2021年よりお茶の水女子大学他非常勤講師、東京家庭裁判所立川支部調停委員。主著に『女性学をまなぶ』（三一書房）『ケア その思想と実践② ケアすること』（共著・岩波書店）など。

お申し込み方法

1月18日（木）締切

スマートフォンから



二次元コードを読み取ると
「新潟市オンライン申請システム
e-NIIGATA」につながります

PCから

新潟市役所HPから

🔍 アルザにいがた × を検索

〈新着情報〉の講座情報へ

電話で

☎ 025-246-7713

受付時間：8:30～17:30
月曜～金曜（祝休日は除く）



主催・問い合わせ

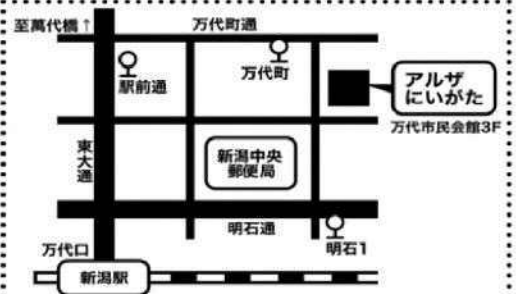
 **アルザにいがた**
新潟市男女共同参画推進センター

〒950-0082
新潟市中央区東万代町9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX:025-246-8080
E-mail:alza@city.niigata.lg.jp
受付時間:月曜～金曜8:30～17:30(祝休日は除く)

アルザにいがたHP



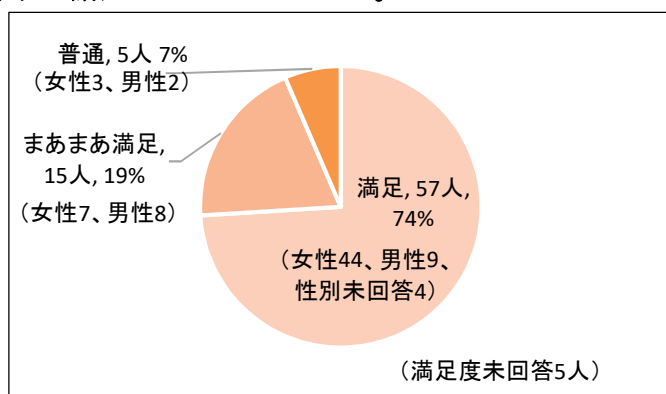
◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか公共交通機関でお越しください。



令和5年度 ジェンダーで社会を考える講座
「アンコンシャスバイアスとジェンダー～ケア役割・ケア労働からみえること～」

回	日	テーマ	講師	応募者数	受講者数
1	2/4 (日)	アンコンシャスバイアス (無意識の思い込み)って何?	宮本 美穂さん ((-社)アンコンシャスバイアス研究所 認定トレーナー)	40人	37人
2	2/17 (土)	家族ケアとアンコンシャスバイアス ～ケア役割 偏っていませんか?～	山根 純佳さん (実践女子大学 人間社会学部 教授) オンライン講義	26人	22人
3	3/3 (日)	職業としてのケア労働とジェンダー ～女性が多いのはなぜ?～	内藤 和美さん (お茶の水女子大学等非常勤講師)	31人	23人

問1 講座はいかがでしたか。



- ◆延べ参加人数:82人
- ◆アンケート回答者数:延べ82人
- ◆平均受講者数:27.3人

満足+まあまあ満足 93.5%
 (女性87.7%、男性85.0%)
 ※第1～3回の各満足度より算出

問2 講座の感想(第1回 ●女性 ■男性 ・未回答)

◆満足

- 対話って大事な。アンコンシャスバイアスを持っているという前提で、様々な人の考えを聞いていきたいと思った。
- 自分の中でモヤモヤしていた事が正しかった(という言い方が適切ではないかもしれませんが)、納得することができて、スッキリしました。ありがとうございます。
- 大変わかりやすく良かったです。ありがとうございました。保育業界に勤務しています。職場の職員で共有したいです。新潟市職員保育課に受講してほしいです。子どもにバイアスを押し付けていないか、保護者にバイアスを押し付けていないか考えます。
- 思い込みはどうしても、なかなか外せないです。今、息子が就活中ですが、カジュアルな服、私服で…と言われることも多らしく、まさにどうしよう…と悩んでいるのを聞いていたので、本当そこだーと思いました。
- ジェンダーの思い込みが強いことがわかりました。
- こういったセミナーが新潟で開催される時代になったことに感慨を覚えます。遅れても参加できて本当に良かったです。
- 自分のムイキを疑う。他の人と対話をする、などを一歩としていきたい。
- 属性によるアンコンシャスバイアスについて勉強できて有難かったです。隣の方と意見交換できたことも良かったです。「私らしく」ありたいと思います。
- 世代間の無理解を放っておくのではなく、お互いに理解し合うことが大切だと思いました。思い込みがないか、自分で考えていくことで生きやすい社会を作っていける。
- 自分のバイアスを意識してみたいと思います。
- 自分も「〇〇だから」と言ってしまうことがあるし、考えに偏りがあると改めて気づかされました。気をつけたいし、他の人の考えも尊重したいと思います。
- 多様な価値観があることを頭に。話を聞いたら、それもありと気付く。メモを取って振り返る。自分自身のバイアスに気付く工夫をしようと思う。

- バイアスを受け入れるかどうかは、自分で決めて良いという結論と、まわりとのコミュニケーションをよくとるというアドバイスが、とても心にしみました。
- とても話がわかりやすかった。自分の中のアンコンシャスバイアスにも気づけた。若い世代に、X世代の価値観を押し付けず、自分らしく輝いてほしい。対話を心がけ、お互いを理解し合いたい。
- 属性(男性・女性)を個人(あなた・〇〇さん)に言い換えるのはすぐ使えるなと思いました。
- 年代によって価値観が違うのはなぜか、という事を数字で見ながら知る事ができて良かったです。
- 別の角度から見たり聴いたりしたとしたら、「絶対に一緒に居たくない輩」を具現化させた”ような内容と言えなくもないかと感じました。
- アンコンシャスバイアスが生まれる理由として、社会背景が影響されていることがわかった。違う世代の考え方を知ろうとする努力が必要だと思った。
- 年齢が高いほど思い込みや決めつけのアンコンシャスバイアスがあるのは仕方ないが、そこそこ若いとある芸人さんや、スポーツ選手の「性被害」を訴えられるも私が高校生の時、大人達に、ホテルや部屋では何かある可能性が高いと、周囲の大人が彼女達に教えてこなかったのかなとも思う。
- 自分自身思い込みをしている事が沢山あったと思った。個人を大切に色々な考えがある事を大切にしていきたい。日々の生活でも意識して決めつけに気づけるようにしてみたい。
- アンコンシャスバイアスについて、気をつけているつもりですが、時々、自分も「若い人は…」とか「男性は…」「女性は…」などと決めつけている時があるなと改めて気付いた。メモをする大切さを教えていただいて良かった。
- 受講してよかったです！早速書き留めて実践します！変わらなければ、と痛感しました。ありがとうございました。
- 色々の方、若い方と話を沢山することで、勉強になると思う。
- 政府の調査にある「女性らしい感性」というのは具体的に何なのでしょうね。こういう曖昧な質問にはいつもイライラします。マイクロアグレッションとの関わりについても聞きたいと思いました。
- 性の思い込み、年齢の思い込みについても改めて自覚できました。変化に対応できるように、時代に合わせて生きていきたいと思いました。

◆まあまあ満足

- 自らアンコン的発言をポロっとしてしまいそうなので、戒めの意味で参加しました。ただ、最初から最後まで同じような話だったので、もう少し専門的(アカデミック)な講義が入っても良かったと思います。
- 思い込みで判断していることが多いと思います。
- 「アンコンシャス」「バイアス」という単語に違和感を感じる。何故普通の日本語で語れないか？
- 多くの受講者がいた事に、この講義のテーマ、内容に関心があったのだなあと感じました。良かった内容でした。
- 振り返ってみると、色々思い当たることがあるので、毎日の生活で、気づきをメモしてみても、確認してみようと思う。
- 自分の思い込みのかたよりに気付けた。職場の他の人にも学んでいただきたいと感じた。

◆普通

- 今回の講義で「内閣府」の資料を使用していましたが、バイアスの根源「自民党政権」から成る組織の資料は信用できるのでしょうか。

- 80代でも自分は若者だと思っている。客観的に、極端だ、主観的、なんかつらい。

◆未回答

- 周りの人と対話し、違いを理解して、そして自分はどうか考えるのか、どう対応していくのか決めることが大事と知った。

問2 講座の感想(第2回 ●女性 ■男性・未回答)

◆満足

- 母親、女性が、押し付けられてきた役割、責任を思いました。そのことで個人の問題だと、今も苦しく思ってしまうがちだと思います。社会の構造や思い込みが大きいことを知ると、気持ちが楽になると思いました。
- 諸々のデータを見せていただきましたが、「自己申告」に基づくものであった場合、果たして実態はどうなのか言う疑念も。リモート活用講義は斬新でした(ただ機器操作や操作に関して若干の不満も)
- 夫が年上で、介護の話題となるとギャップを感じてずっと不安でした(私に夫の親を任せられそうで)。現状を聞くことができ、資料をもって会話ができそうです。
- <ケアにおける察知・試案>の図、説明を聞きながら、自分が経験した介護の中の「めいっぱいへとへと」感の見えなかったところ(理由)を理解することができた。
- 女性がなぜケアの中心となり、男性が少ないのかが様々な視点で考えられた。共にケアする社会に向けて、社会資源と、理解していくことが必要と思う。
- とても充実していました。ありがとうございました。
- 見えないケアの活動としてニーズ・健康・幸福・ふるまい・好み・雰囲気・個性・性格・関係性に、耳を傾ける・気付く・聞く・調整する・観察する等があることがわかりました。
- 参加された方が「今は、個人を大切にしている時代と思い込まされている」と話されたのを聞いて、びっくりしました。自分の考え方を変える柔軟性を持ちたいと思います。訪問介護がなくなる(可能性がある)のは驚きました。
- 訪問介護や看護がなくなる(可能性がある)のは絶対ヤバイ。岸田総理の少子化以前の問題でしょうが!!!暗黙の了解で、家族→娘なんて死んでも嫌!!さらにお産で仕事を休んでいる時に「学び直し」?これ手芸や語学や、半分趣味や学生時代の勉強のリスキリングが思いきや、職場復帰後対策?ふざけんな!!子どもが保育園や小学校中学年とか、主婦でいたい人もいるのに、女、なめんなって感じです。
- 男性、女性によって、ケアへの参加に差があるが、それは、慣れの問題や経験値の違いがあるのだろうなと考えることができた。ところで、生物学的に性別による能力の違いはあるのでしょうか。気になる。
- ケアに対しても、アンコンシャスバイアスが影響していると感じました。
- 男性は、自身の身体・心に対するケアに慣れていないのではないかと思います。
- 「ケア労働」の話でビックリ。良かった。知ったことで私もイヤなことはイヤと言う。見えないケア活動も多い。
- 女性のケア労働を「無料サービス」だと思わないでほしい。
- 自分も、女性の方がケアに向いていると思いつているのかも、と思いました。

◆まあまあ満足

- 男性社会に都合の良いように性差をすり込まれ、男性は免責され女性のお膳立てで、女性の力で生きている。平等な、性差のない社会になればいいが、先は長い。
- 子育ては先が見えるが、老人介護ではいつまで続くのか先が見えない。要介護3までの間、家族は「愛情」をもって看続けることはできるか——。

- 介護や子育てでの女性への偏った責任のかかり方は、カンタンに変わるものではないのだと思いました。今、子育てをしている人や、次世代の親である私たちが、自分の意識を変えて接していくことだけが、未来を変えるのかもしれない。
- 女性の方が入りやすいのではと思います。私は(男)、自分の妻、母がそういう状態になっても、関わりたいと思います。全く抵抗はありません。

◆普通

- 「私がやるのが当たり前」と思い込んでいたことに気付きました。もっと手放してもいいのかも…？と。
- 男と女という枠に違和感がありました。男にしても女にしても適性があるなと思います(ケースにより違うものですね)。子どもの頃から関わられるよう、考える事、やらせてみる事が大事だと思いました。若い人がパートナーを探すときのポイントですね。少子化にも役立つと思います。

問2 講座の感想(第3回 ●女性 ■男性・未回答)

◆満足

- 子育てに追われていた時は、ケア役割である自分が苦しかった。あの頃アルザで学び、内藤先生のお話を伺い「わたしを助けて」と言える自分になった。あの経験は自分を成長させてくれたと思う。あの経験なしに成長できたら良かったのに…
- ケアで他者を支援する事は大事だと思う。だけど、この仕事も女性が担っている事が多いけど、ナイチンゲールのクリミア戦争のように、兵隊さんをケアするために看護婦のありようとして、女性が中心に働いていたルーツがあるんだなーって気づいた。男性が助産師になれないなら、性教育で思春期の男子の指導ができる。なのに、制度がままならない。保育士は男性もいたけどまさか「保母」と名乗れず、女性医師は子育て、医師と結婚する比率が多いため、40代で賃金が下がる、お手伝いさん(専門の人)が育児をしている。だけど、少しずつ変わっていったらいい。『夕鶴』になぞらえて、女性ケア中心の「問題」を、とにかく、講師の内藤和美さんの熱い訴えがすごかった。
- レジュメを一見した時に、理解できるか不安だったが、先生のお話でとてもわかりやすかった。職業の分野により現状や問題は違っているが、各々の現場や専門の人が声をあげて働きやすい職場→生きやすい社会を獲得していけたらいいなと思いました。
- とてもおもしろかったです。今までやってきた(今もですが)仕事で、自分の思いが後回しになってしまっていた事に気づきました。自分のケア、考えてみます。(本当はもっと気軽にできるものかもしれませんが)
- 「自分をケアする人になってください」という言葉をもち帰ります。有難うございました。
- おもしろかった。ケア労働の現場が抱える課題について、理解が深まった。社会的評価が低いことを認識した。自己犠牲の性質とバーンアウトの関連のあたりのお話が興味深かった。棚に上げた(感情)のたとえ話はイメージしやすかった。
- 歴史から掘り起こして看護師、保育士の平等化の課題が多いことがわかりました。所定内賃金差についても考えさせられました。
- 歴史の話はとても興味深く、初めは男女の役割分担だったなどと、時代の変化がよくわかりました。あと「主体の空洞化のリスク」について、職業ではないですが、家庭内役割で介護もあるとそうなり兼ねないので、気をつけたいと思いました。
- ケアワークには女性規範が自己犠牲になり、リスクが高くなり、バーンアウトが起こる事がわかりました。自分をケアする事が大事な事がわかりました。
- おもしろかった。良かった。

- 過去を学ぶとジェンダーバイアスも一緒に学んでしまう(AIの話)という言葉が心に残りました。様々な職業の問題も知ることができて良かった。
- 看護師の歴史、保育の違い、医師のジェンダー差についてよくわかった。ただ、ジェンダーとしての捉えの時間が少なかったと思う。内容が深いから仕方がないのですが。
- 歴史的な背景から見えてくる、女性の労働環境の中で伝統的な女性の役目、役割から中々抜けられない状況にあったか。
- 視野が広がりました。
- 細かくわかりやすい内容だった。問題を突き詰めると、問題点や課題が深すぎて、もっと勉強しないと痛感した。
- 初めて聞く講座でした。その実情や各データが示され、理解することができました。私にとっては有意義でした。
- 情熱的で愛を感じる講義でした。

◆まあまあ満足

- ケア労働の職業化がなしくず的に女子に押し付けられたと思い込んでいたのですが、兵士にならない人々が担当していたという戦争の影響のスタートから面白かったです。歴史を丁寧に辿ってくださったのも興味深く聞きました。バーンアウトの話も興味深かったです。後半が特に面白かったです。

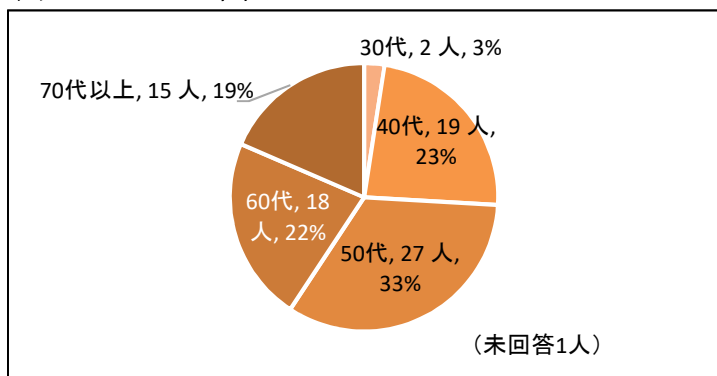
◆普通

- 法的知識が必要なことを改めて思い知らされました。年代一覧はわかりやすかったけど、図表が欲しかったところです。個人的には、現実を知った事でトラウマがかえって増幅してしまったのかもしれない。

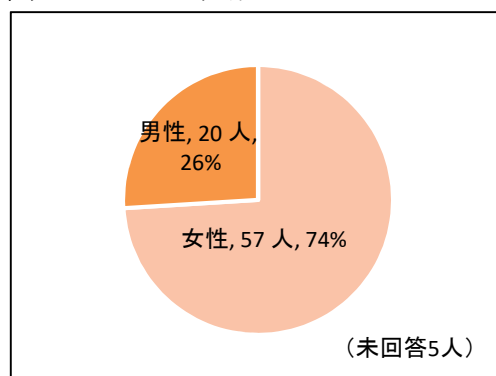
◆未回答

- 知らない業界の現状を知ることができて、とても勉強になりました。
- 本人の実質化が大事。「自分をケアできる人になってください」の言葉、頂きました。世の中の動きが不可逆的にジェンダーバイアス解消に向かっていくのを見守りたいと思った
- 私は栄養士の資格を短期大学部で取得しましたが、看護師や保育士のように社会からスポットライトをあててもらえない、女性の問題(最低賃金、重労働、人手不足、深夜出勤、超勤法律以上)が深刻です。本日のように講座で取り上げてもらえるだけでもうらやましいです。大学の教授方は、労働環境を整える研究をしていただきたいな、と苦しい人生を経験して感じてきました。使い捨てられる若い女性たちを大勢生み出すのではなく、健全な業界づくりをしていただきたいと思っていたので、本日、そのような先生にお目にかかれて嬉しかったです。

問4 あなたの年代は？



問5 あなたの性別は？



問6 アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)や家族へのケア、職業としてのケア労働について、感じていることをご記入ください。(第1回 ●女性 ■男性・未回答)

- 子どもの体調不良で保護者に連絡をする時、母より父への連絡に抵抗がある職員が結構いると感じる。保護者の方では、緊急時の連絡先に父親の連絡先も書いているのに、何故か母親に連絡が取れないと、父親に(電話を)掛けるのではなく(母親からの)折り返しを待つなど。
- 無意識にしみついていてる考え方に気付くことができました。ありがとうございました。
- 保育の中で職員によりますが、ピンク→女の子、便座での排尿→女の子、シングルマザー、ひとりっ子→不幸 →それは違うと言える自分になりたいです。コミカの大切さ!!
- お母さん、娘、嫁はケアする係、家族のマネージャー役を背負わされているなあと思います。
- 夫に対する態度を変えていくべきだと思いました。
- 正社員ではない独身50才女性は新潟で生きる場所はないと思っていました。色々な人の話を聞くのが大事だと自分のバイアスも気づきました。
- 特に家族へのケアで悩んでいます。家族の中で、バランスよくケアを分担するのが理想ですが…難しいですね。
- 介護など、女性がするものという社会意識を変えないといけない。
- 義実家の親のバイアスが強いと感じています。
- 新潟に来て「独身でかわいそう」という人が多くて、驚いた。
- 性別役割意識が長年夫婦として暮らしていても、共に生きる目的からずれていく。
- 無意識なので、気付くのがとても大変ですが、そういうバイアスがあることを自覚することが大事だと思いました。ありがとうございました。
- 直接言われているわけではないが、(まあ、自分がやるか…)と折合いをつけてやっていることも多い。その自分の行動が周りとの関係の中で「強化」につながっているのだと思いました。
- 講義でも言われていましたが、世代間ギャップの問題が大きいと思います。
- 70代以上の人から、女性なんだから、母親なんだから、という思いを押し付けられるのが辛いと感じています(私も女性として母親として、こうしてきたんだから、と)
- 現状を随時知れば知るほど、この先将来的にどうなっていくのか、期待感もあり、不安感もあり。
- 子どもが熱を出した時、仕事や子どもを病院へ連れて行くのは母親という価値観、「イクメン」という言葉、男性も育児することは当然なので、この言葉に違和感(アンコンシャスバイアス)を感じる。
- 建築建設業で大きな工事で「女性が活躍しています」ってゼネコンの職長さんや、キャリアウーマン風の人を言っているのかなーって思う。私も工事現場(土木、建築)に働いていた時もあり、運転手、請求書を持ってきた事務の人、清掃、現場指揮と、少なからず女性もいたんだけどって思った。
- 女性だからと家事をしている事に不満を感じる事がある。家族の思い込み(無意識の思い込み)をなくして行けたらいいなあと感じた。家族の理解に努力したい。
- 夫と自分(妻)の間では、家族へのケアについて理解しあっているつもりですが、周り(年輩)の親戚などとの年代による理解のギャップに嫌な思いをする時がある。
- 自分は思い込みの激しい人間だと、薄々感じていましたが、本日受講して確信しました!! まず自分自身が変わらなければ!!そのためにも人の話を聞かなければ!!
- 個性が強い方多いので、勉強が必要ですよね!
- 親しい友人などと話している時に、相手の話にアンコンシャスバイアスを感じる事があり、しかしそれをうまく伝えられず(短い言葉で伝えられない)、もやもやすることがあります。どうしたものかといつも思っています。

- 「自分に対する思い込み」を決めつけている若い人等に、どう対処していけば良いのか考えていましたが、宮本先生の、やはり“対話”と“聞くこと”を心がけていきたいと思いました。
- 趣味のメンバーでさえも、思い込みで判断している、後でそうではなかったことがある。
- マスメディアやSNSによる社会的認知よりも、法制度の方が進んでいることもあるので、就労面でアンコンシャスバイアスが強い企業等には、経営者から法律面(労働法による男女平等、両立支援、ハラスメント等)を考えてもらいたい。
- このテーマは常に思っている事で、なかなか人の思い込みは変わらないと思っています。他人が変わる事は難しいのであれば、自身がそれに対応して生きていった方が楽だなあと思います。
- 確かに！「年だから」「認知症だから」と口から出ることが多い。
- 平等だと思っていますし、職業がらバイアスを無にして接しています。
- 高校の柔道部の外部指導者を担っていますが、指導は、ある程度のところまで引き上げるには『強制力も必要』と思っています。圧倒させてはいけませんが「力」も必要。
- 自分自身のバイアスを気付くように、メモを取ろうと思った。

問6 アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)や家族へのケア、職業としてのケア労働について、感じていることをご記入ください。(第2回 ●女性 ■男性・未回答)

- やはり家族で話し合いができることが大切だと思いました。
- 思い込みについては、幼少期以前から刷り込まれたものが影響大なのではないでしょうか(色々な意味で)。ケアに関しては、強要よりは得手不得手が影響していると思いたいけど、実際の場を見た上で考えてみたい。
- 社会が母親を社会で働かせようとした8年前に出産し、仕事もがんばろうとしましたが、夫の親が全く逆の考えで、かつ、夫も無意識にそのようなポジションをとり退職しました。それから、ケア以外のことが一つ一つ出来なくなってしまい、抜け出す道を探っています。ステップを教えて欲しいです。
- 「お母さんが」「お嫁さんが」と言われることに承認を感じたり、プレッシャーを感じたりするが、「それって私がやらないとダメなんですか？」と問うてみることをやっていきたい。
- 女性にケアを求める社会を、平等に負担する社会に変えていくために、意識を変えることが大切だと思います。
- 介護施設で働いています。契約の時に「入浴は女性職員が行います」というのを売りにしているようで、女性介護職員の負担がとても大きいと思います。男性職員もトイレ介助を女性だと頼んできたりして、不平等だと思っています。
- とても難しいと感じました。
- 訪問介護、看護、なくさないでほしい。大きな施設や病院で疲れた人の息抜きの意味あいで、脱ニートとしてのバイト感覚でいいから、なくさないでほしい。
- 子育てといえば、窓口は「お母さん」という感じは、至る所で感じる。社会全体の意識や構造などが変わっていくことが必要と思うが、ケアに関する男女さ(負担の違い)が見直されるといいなと感じる。
- 夫や兄弟と気持ちの共有が大切だと感じました。
- 職場の上司・部下の関係におけるアンコンシャスバイアスの強さと、それが家庭に与える影響の強さの関係があるのでは。
- 何でも引き受けて、アップアップの状態にいる。男女差がなくなるといい。

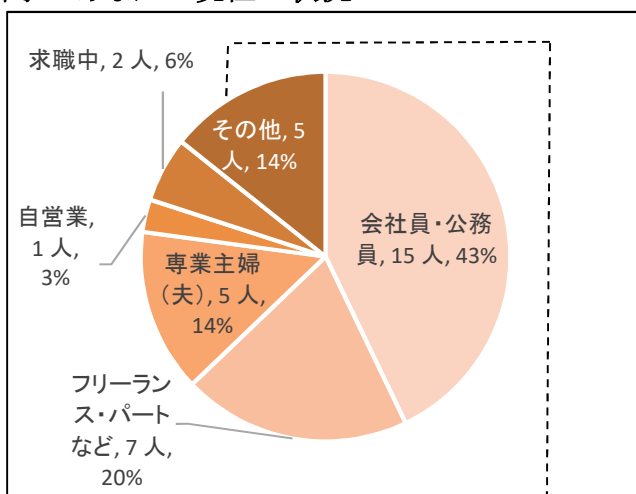
- 親の介護、家族(夫婦)の介護についても改めて考えようと思いました。
- 女性は比較的軽度な仕事をあてられることが多い。それが良い時もあれば、物足りず寂しい時もある。
- 10～20年で変わるかも、とあり、世の中の人々の思い込みが変わり、ケアに性差がなくなればいいと思う。
- 20年後、介護の資源が激減した時、自分はだれかに看てもらえるのか？が心配になりました。
- 障がい児(重度)の育児を経験しましたが、何かあると「お母さん…」と報告・苦情。自分のキャパシティ超えの負担を背負い続けることが当たり前。SOSを必死に出しても、専門職の方々ですら「お母さん、頑張って」でした。これからは同じことで苦しむ母親がいなくなるような世の中になって欲しい、と先生のお話を聞きながら感じました。
- 教育現場でも、つい母親に相談するのはバイアスなのか、知見なのか…わからないけれど、議題として考えることが必要なのかなと思いました。

問6 アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)や家族へのケア、職業としてのケア労働について、感じていることをご記入ください。(第3回 ●女性 ■男性・未回答)

- 考えれば考えるほど生まれてくる、内なるアンコンシャスバイアスです。「？」と思った時は他者に問うてみたい。アンコンシャスバイアスバスターズ ババアになろうと思う。
- どんな仕事やケアでも自分を置きざりにしてバーンアウトさせてはだめだと思った。
- 相変わらず、「女性」が介護、看護、ケアは比率が高い。だけど、今職業で力仕事は男性、細かい仕事は女性で適材適所のように、何とも言えないけど、自分の個性や好き嫌い、得手不得手も一緒にひっくるめて男女それぞれ、働きたいやり方、家族や自分自身のケアが必要になれば、お金や行政の力で解決できればいいと思いました。
- 女性は不利(言葉が違うかもしれませんが)な事が多いように思います。いろんな方々のおかげで今がある事もありがたいです。
- 「無意識」の意識化って大切だな、ということ。
- 自分より他者(夫)を優先していてつらいと思いつつ、あきらめていたが、危険な状態にいたることがわかった。「自分をケアすることが出来る人になれ！」の言葉、ありがたい。
- 無意識の思い込みがあるなと気づかされました。自分も両親の面倒をみていますが、仕事もしているけれど、私がみるのが当然と思っていたので。
- ケア労働においては、女性に偏っている事がわかりました。
- 男と女は違う。その中で共生していくって大変だ。
- 女性がするべきと思ってしまっていたことがある、という事に気づいた。
- いつもケアは、女性に偏っていて、そして報われず、憤りを感じていたが、時々学問として分析すると、ひとつ高い位置から考えることができる。自分のためのケアがアルザの講座だと思う。
- 女性の活躍する場面の社会的認知度が高い評価としての改革が必要。賃金も合わせて、少子化対策にもつながるか。社会的地位の評価。
- 入院時、男性看護師さんに緊張した記憶がある。
- 気持ちの切り替えが第一と思っていたが、もっと問題解決には深い点が多だと感じた。
- 今現在、私の環境は家族のケア等に関わることはありませんが、将来必ず発生してくる、事前に学び(調査等)が必要と思います。

- 職場の上司・部下の関係にアンコンシャスバイアスが強いといつも感じています。
- ケア労働は家事だと思っているので、日頃、家事も育児も携わっていない多くの男性は、経験値において女性とはすごく差がつくと思っています。ただ、今、ケア労働を担っている(担わされている)女性達は大変な負担で、男性にも小さい頃から家事をする場に立たせ、自然にケア労働をこなせる状況にもっていくのが、解決策かなと考えています。
- 適材適所という言葉の意味を今一度じっくり考察すべき時期に来ていると思われる巷の雰囲気です。
 - (アンコンシャスバイアスは)世間には沢山あると感じているので、そこに意識して自分の考えに気づいていきたいと思います。
- 自分自身の性差による思い込みを、講座を聞いて、あると気づいた。女性だからすごいとか、男性だから、とかではなく、個別の人として評価してすごいと思うようになった。
- 出産後から約7年、なぜこんなに苦しいのか分からず、原因を必死で探し回った先にジェンダー問題が深く根づいた田舎育ちだと分かりました。山や田畑を守るため、子を満たすために男女の分担は合理的でもある田舎を否定することもまたつらいことです。盲目にならずにゴールをイメージしたいのですが、東京のような都市と同じ情報を信じて周りを説得したり、苦勞する事について、専門家の方は見てくださっているのか…疑問も残ります。

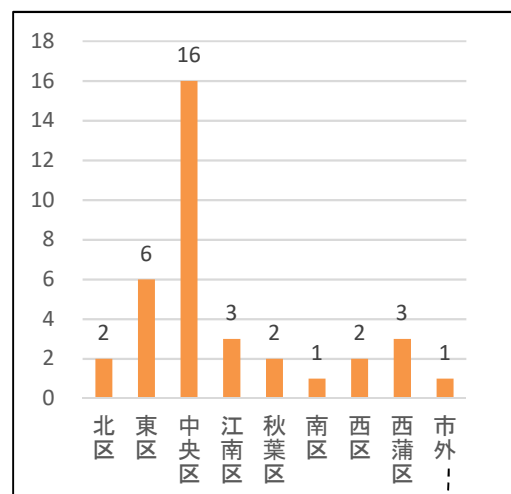
問7 あなたの現在の状況



<その他>

団体法律事務、非常勤講師、無職

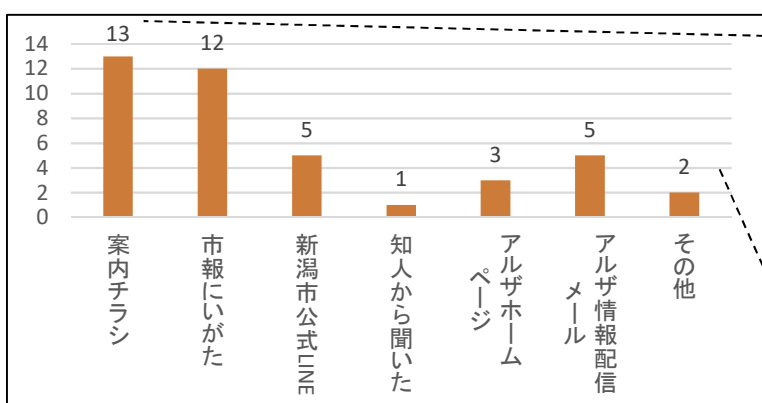
問8 あなたのお住まいは？



<市外>

長岡市

問9 今回の講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)



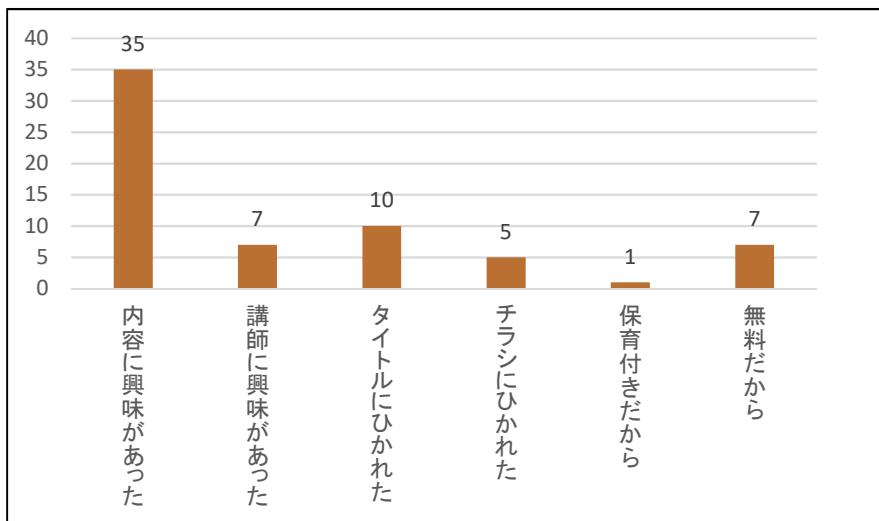
<チラシ入手場所>

- ・アルザにいがた 4人
- ・万代市民会館 2人
- ・石山地区公民館
- ・県立図書館・図書館
- ・社会福祉協議会
- ・職場で

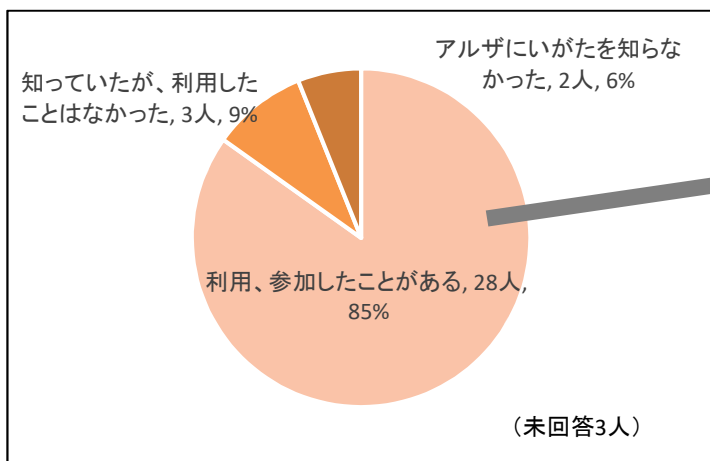
<その他>

- ・新潟市オンライン申請システムe-NIIGATAで 2人

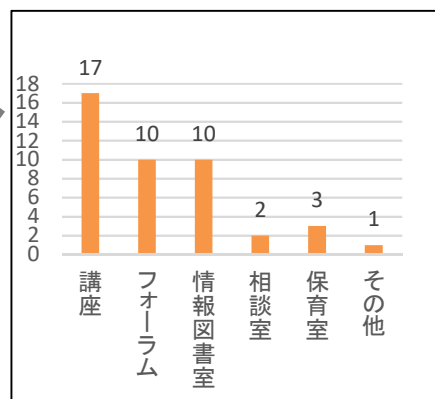
問10 参加された動機は何ですか？(複数回答可)



問11 今回以前にアルザにいがたを利用したことがありますか？

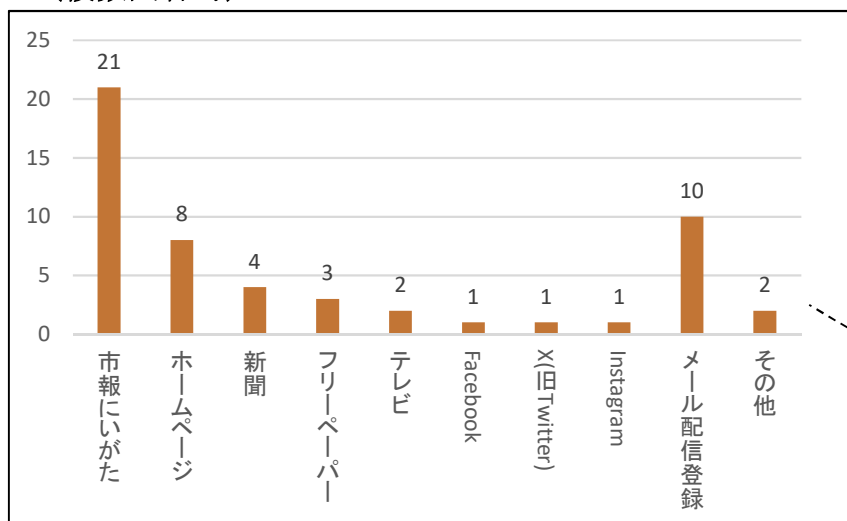


「利用あり」の内訳(複数回答可)



問12 アルザに限らず、普段あなたは講座に関する情報をどこから入手していますか？

(複数回答可)



＜その他＞
 ・公民館でのチラシ
 ・県立図書館

問13 男女共同参画について、今後企画してほしい内容や講師がいましたらご記入ください。

- 新しい事を学べる環境をどんどん作って欲しい。
- 地域の茶の間、傾聴。河田瑠子さん(東区、実家の茶の間代表)、富岡五子(西区、傾聴ボランティア代表)
- 宮本先生、とてもわかりやすく良かったです。
- 他者の意見を聞く時の「コツ」。「聞くこと」について企画していただきたいです。
- 男女共同参加、差別が生まれた社会を、歴史から学んでみる講座。
- またアンコンシャスバイアス、zoomなどもお願いします。
- 女のスペースさん 大原やえ子さんを講師に、何か語って欲しい。
- (もう終わってしまいましたが)メディアリテラシーについて聞いてみたい。アンコンシャスバイアスも広く、ジェンダーの視点でないもの、ハラスメントなども。
- 治部れんげさん
- 女性活躍の機会や、女性リーダーなどもテーマとしたお話が聞いてみたいと思います。
- AIとジェンダーの問題
- 教育におけるジェンダー、AIとジェンダー
- もっと事例等を多く紹介してもらえればと思った。職種の違いがあまりにも多大であったので、それ等の問題点を出してもらいたい。
- 妊娠責任について
- 「メディアリテラシー」の勉強会をしてください。
- 新潟青陵大学大学院の確井真史先生(心理学教授)、心に傷を負ってからの癒しの過程について(育ちの心の傷を、子育てで再体験してから社会復帰をするためにとても大変なため)

問14 「アルザにいがた」についてのご意見ご感想など、ご自由にお書きください。

- このような学びの場を設けていただき、ありがとうございます!!
- 受付で名前を告げて「はあ?」と言われるのは不快です。改善してほしいです。
- 駐車場(無料)があるといいですね!ありがとうございます。
- 他の公民館の講座の内容と同じような感じになることなく、独自の目線で進んでいって欲しいと思います。
- 現代、今後もとても重要なセンターになると思います。様々な社会への発信になるよう、研修等あると良いと思います。
- 学びのチャンスに感謝です。参加させていただき、ありがとうございました。
- センターの新潟市における「立ち位置」はどこなのでしょう。「女性財団」「女のスペース〇〇」と様々ありますが、このセンターのコンセプトは何でしょうか。
- これからもためになるセミナーをお願いします。年々講座にかかる予算が減らされているのかな?気になります。
- これからも期待しています。
- センターの名称、重いですね。
- 壁の掲示おもしろい。素敵なポスター等があり、見るのが楽しい。新しい気づきにもつながる。
- ありがとうございます。とても興味深いテーマでした。
- 第3回の内容で、〈職業的ケア労働のゆくえ まとめ〉を中心に、もっと主張していける体制をもっと盛り上げて欲しい。
- 講座もフォーラムも毎回楽しみにしています。
- 今後も何らかのイベントがあれば参加したいと思います。
- いつも大変ありがとうございます。生き方がわからず苦しんでいますが、いつもヒントをいただいで成長できていると感じます。(1人ではとても気付けません…。)

講座を振り返って(企画委員振り返りより)

【第1回 アンコンシャスバイアスって何?】

良かった点

- 言葉を知っていても良くわからないという人をつかみやすい講座だった。講師のテンポの良さ、話の聞き取りやすさもあり、わかりやすかった。
- とてもわかりやすい講義だった。大勢の方にご参加いただきました。働いている男性も参加していた。講義を聞きながらうなづく方が多く、いい講座だった。
- より多くの人に聞いてもらうには、タイトルは重要。このシンプルさが良かった。

改善点

- 内容が盛り沢山だったので、(本当はもっと伝えたい)講師の思いを受け取れなかったのは残念。

【第2回 家族ケアとアンコンシャスバイアス～ケア役割 偏っていませんか?】

良かった点

- 身近な問題で、誰しもがテーマになりうる。家族のケアについて抱えているモヤモヤがこういう事だったのかな?、講義を聞いて更にモヤモヤしたのも、考えさせられる内容になった。

改善点

- 講師はもっと色んなことを話したかったのでは。このテーマを2回に分けても良かった。

【第3回 職業としてのケア労働とジェンダー】

良かった点

- 講師が本音を包み隠さず話してくれて良かった。
- 医師、看護職、違った視点をテーマに入れてもらえて良かった。「(ケアする側こそ)自分を大事にする必要がある」という点で、ジェンダーが関わっていることを講師が見出してくれた。
- ここまで話してくれるとは、という良い意外性があった。新しい知識が増えて良かった。
- ケア労働の性質と、女性が多いという所に結びつけていただけて、整理することができる内容になった。

改善点

- 第2回同様、このテーマを2回に分けても良かった。

【全体を通して】

- 第1回到概論、第2, 3回到各論という流れは整ってきた。今回は第2回でアンコンシャスバイアスの具体例に迫ることができた。第3回は、「アンコンシャスバイアス」としては不満足だが、得る事はあった。(第3回のタイトルに、「アンコンシャスバイアス」は入れず、「ジェンダー」とした事から、アンコンシャスバイアス、という内容は少なかった)
- アンコンシャスバイアスという言葉を知っていても、中身を知らない人が多かったので、概論をする必要があった。
- 講師について。講座の講師は大学の教授などが多いが、宮本さんのような身近な存在をお呼びしたのは良かった。身近なテーマを、おもしろおかしく話してくれた。各回とも講師それぞれの味が出ていて、良かった。タイトルは固かったが、内容は入ってきた。講師選びは大切。
- 概論から、各論。ピンポイントで具体的にみていく。というのは良い。今回はターゲットを絞れたので集客できた。
- 講座を企画する上で、収穫が多かった。

【今後に向けて】

- 概論から各論で3回という形は良かった。(この形はテーマによってはできない時もある。)
- ジェンダーで社会を考える講座を、一度立ち止まって「歴史と現状、今後」をテーマに挙げてもよいのでは。
- 企画を具体的にすれば、興味のある人が来てくれる。
- 言葉は知っているけど、内容が分からないという人は多い。もっと多くの人に関心を持つタイトルを意識すると良い。
- ジェンダーに関心のない人が来てくれる講座にするのが課題。

【その他】

- 「講座を聞きに行く」という生活スタイルを持っている人自体が少ないのでは？
- 企画委員の当日集合時間をもう少し早めては。

講座プログラム

- 事業名：令和5年度 再就職支援講座
- 講座タイトル：女性の再就業支援講座
- 対象・定員：これから再就職やもっと違う働き方を考えたい女性 各回 20人
- 保育：5人

学習目標	女性の職業生活における活躍の推進を図るため、離職をしている女性等の再就業を支援する、50代前後の女性のこれまでの生き方、働き方を振り返り、これからの働き方を考えるため、ステップアップを促進するセミナーを開催し、ハローワークをはじめとする関係機関・制度等の活用を通じた具体的な就業活動につなげることで、職業人としての社会参加とワーク・ライフ・バランスの実現を促進・支援する。			
行動計画	1-1-1-イ、3-3-2-ア、4-2-1-エ			
回	日時	タイトル	方法	講師・助言者
テーマⅠ 多様な働き方とルール				
1	10/14 (土) 13:30~15:30	フリーランスなどの多様な働き方を知る	講義 グループ ワーク (オンライン 受講可)	須澤美佳さん (株)ママントレ代表取締役
2	10/28 (土) 13:30~15:30	働き方別の社会保険等のルール		高野真規さん ワークシフト合同会社代表社員、社会保険労務士
テーマⅡ 50代からのキャリアとキャリアプラン				
1	12/2 (土) 13:30~15:30	大人女性のキャリアデザイン	講義 グループ ワーク (オンライン 受講可)	森ゆきさん (株)マイキャリア・ラボ代表取締役
2	12/9 (土) 13:30~15:30	大人女性の働き方と仕事のみつけ方		若槻彩子さん Wcareer Office 代表 キャリアコンサルタント

- ※県と共催で、新潟県女性財団に企画・運営を委託し、新潟ユニゾンプラザで開催
- ※セミナー終了後、希望者にはマザーズハローワーク、テクノスクールなどの就労支援施設を案内

講座プログラム

- 事業名：令和5年度 再就職支援講座
- 講座タイトル：再就業を目指す女性のための個別相談会
- 対象・定員：これから再就職やもっと違う働き方を考えたい女性 各日3人程度
- 保育：あり

学習目標	一時離職している女性、正規社員を目指す非正規社員の女性等を対象に就業意欲を高め、個々の不安や悩みを解消する個別相談会を実施することで、具体的な就業活動に繋げ、職業人としての社会参加とワーク・ライフ・バランスの実現を促進・支援する。	
行動計画	1-1-1-イ、3-3-2-ア、4-2-1-エ	
開催日	時間	講師
12/12 (火) 12/13 (水) 12/14 (木) 12/15 (金) 12/16 (土)	①9:30～10:30 ②11:00～12:00 ③13:00～14:00 ④14:30～15:30 ※先着で日時を選択	若槻彩子さん (Wcareer Office 代表・キャリアコンサルタント) または 酒井和美さん (ファイナンシャルプランナー)

※オンライン対応可能

女性のためのキャリアデザイン

自分らしい働き方を みつけるセミナー

参加費無料
一時保育あり



「働きたいと思っているのだけれど、なんだか不安。」「どんな仕事があるの?」「私にあった働き方は?」など、自分らしい働き方を見つけたい、考えたい方のためのセミナーです。雇用されるだけでなく、フリーランスや在宅ワークなど、働く場所や時間に制約されない多様な働き方のヒントや役立つ情報をお届けします。自分にあった働き方、これからのキャリアプランなど参加者や講師と交流しながら一緒に考えてみませんか。

会場

新潟ユニゾンプラザ 女性団体交流室2
(新潟市中央区上所2-2-2新潟ユニゾンプラザ2階/新潟県女性センター)
※オンラインでも受講できます。ご希望の方はお申し出ください。

定員 各回 **20**人(申込先着順)

対象 これから再就職やもっと違う働き方を考えたい女性の方

テーマ
I

多様な働き方と
ルール

Seminar 1

フリーランスなどの
多様な働き方を知る

10月14日(土) 13:30▶15:30

講師: 須澤 美佳さん
(株式会社ママントレ代表取締役)



Seminar 2

働き方別の
社会保険等のルール

10月28日(土) 13:30▶15:30

講師: 高野 真規さん
(ワータンフト合同会社代表社員)



テーマ
II

50代からの
キャリアデザインを考える

Seminar 1

大人女性の
キャリアデザイン

12月2日(土) 13:30▶15:30

講師: 森 ゆきさん
(株式会社マイキャリア・ラボ代表取締役)



Seminar 2

大人女性の働き方と
仕事のみつけ方

12月9日(土) 13:30▶15:30

講師: 若槻 彩子さん
(キャリア支援事務所 Weareer Office 代表)



※ユニゾンプラザの駐車場が混雑する場合がございますので、お車で越しの方は、時間に余裕を持ってお出ください。

申込み方法

裏面をご覧ください。

一時保育
あり

一時保育を希望される方は事前
にお申込みください。

生後6ヵ月以上、定員5人(先着順)
保育協力費無料。

申込締切: テーマI 9月29日(金)
テーマII 11月17日(金)

受講後の
ステップ

・再就業を目指す個別相談会を実施します。(裏面)
・希望者にはマザーズハローワーク、テクノスクール
をご案内します。

主催 新潟県 新潟市

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人新潟県女性財団(業務受託団体)

電話 025-285-6610 FAX 025-285-6630

ホームページURL: <https://nwff.jp> e-mail: nwff@nwff.jp



お気軽にご参加ください

再就業を目指す女性、
正規雇用を望む非正規雇用の女性のための

相談無料

一時保育あり

秘密は
守られます

個別相談会



仕事を始めるため、またキャリアアップを目指すためなどの様々な悩みに
専門家がおこたえします。お気軽にご相談ください。

相談は、キャリアコンサルタントとファイナンシャルプランナーが対応します。※オンラインも可

※時間は、調整させていただきます。

日時	①12月12日(火) ②12月13日(水) ③12月14日(木)	A 9:30~10:30 B 11:00~12:00
	④12月15日(金) ⑤12月16日(土)	C 13:00~14:00 D 14:30~15:30

定員 各日3人程度(先着・予約制)定員に達した時点で締切になります。

会場 新潟ユニゾンプラザ2階 女性団体交流室1

申込み方法 セミナーと一緒に申し込みいただけます。
相談のみのお申込みも可能です。

プランが長くて不安。
面接ではどうこたえたらよいか
わからない。

働き方と
マネープランを
整理したい。

求職活動は
何から始めればよいか
教えてほしい。



主催 新潟市 新潟県

申込方法

① HPより 財団ホームページより「お申込みフォーム」をご利用ください。(https://npwf.jp)

② お電話で 新潟県女性財団までお電話ください。TEL.025-285-6610

③ FAXで 下記申込書に必要事項をご記入の上、お送りください。FAX.025-285-6630



ご希望の日時等に☑してください。

ふりがな			電話		
お名前			e-mail		
ご住所	〒				
自分らしい働き方を見つけるセミナー	参加されるセミナーに☑してください。 テーマI <input type="checkbox"/> ①10月14日(土) フリーランスなどの多様な働き方を知る <input type="checkbox"/> オンライン参加 <input type="checkbox"/> ②10月28日(土) 働き方別の社会保険等のルール <input type="checkbox"/> オンライン参加 テーマII <input type="checkbox"/> ①12月2日(土) 大人女性のキャリアデザイン <input type="checkbox"/> オンライン参加 <input type="checkbox"/> ②12月9日(土) 大人女性の働き方と仕事のみつけ方 <input type="checkbox"/> オンライン参加				
個別相談会	希望日		希望時間		
	<input type="checkbox"/> 12月12日(火) <input type="checkbox"/> 12月13日(水) <input type="checkbox"/> 12月14日(木) <input type="checkbox"/> 12月15日(金) <input type="checkbox"/> 12月16日(土)		<input type="checkbox"/> A 9:30~10:30 <input type="checkbox"/> B 11:00~12:00 <input type="checkbox"/> C 13:00~14:00 <input type="checkbox"/> D 14:30~15:30		
	希望相談員	<input type="checkbox"/> キャリアコンサルタント <input type="checkbox"/> ファイナンシャルプランナー			
一時保育	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	希望する場合	どのようなことを相談したいですか ふりがな お子さんのお名前 ふりがな お子さんのお名前	年月齢 歳 ヵ月 年月齢 歳 ヵ月	

※オンラインでの参加の方には、別途、接続情報等をご連絡します。 ※提供いただいた個人情報は、当セミナー運営の目的のみに使用いたします。

お申込み・
お問い合わせ

公益財団法人新潟県女性財団(業務受託団体)

〒950-0994 新潟県中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階/新潟県女性センター

TEL.025-285-6610 FAX.025-285-6630 ホームページURL https://npwf.jp e-mail:npwf@npwf.jp

自分らしい働き方を見つけるセミナー・個別相談会申込書

女性のためのキャリアデザイン 自分らしい働き方を見つけるセミナー
 テーマⅠ 多様な働き方を知る
 seminar1 フリーランスなどの多様な働き方を知る

令和5年(2023)年10月14日(土)13:30~15:30
 会場:新潟県女性センター 女性団体交流室2 ・オンライン参加あり

会場参加:14人 (申込:18人 キャンセル:1人 当日欠席:3人) アンケート回収:14枚

① 年代	20代	0人
	30代	9人
	40代	3人
	50代	2人
	60代以上	0人

性別:	女	14人
	男	-
	その他	-
	Na	-

② 仕事をしていない期間をお聞かせください。

10年以上	0人
5年以上	2人
3年以上	1人
1年以上	1人
1か月以上	2人
働いている	8人

③ セミナーをどちらでお知りになりましたか？

1)チラシ (設置場所:保育園×2、区役所、図書館×3)	7人
2)知人を通じて	0人
3)当財団ホームページ・フェイスブック	3人
4)インスタグラム広告	1人
5)市報にいがた	1人
6)ときっこクラブ アプリ	0人
7)その他(具体的に:職員からの紹介、県からのお知らせ、)	2人

④ 参加の動機をお聞かせください。(複数回答可)

1)講師に興味があった	3人
2)テーマ・タイトルに興味があった	11人
3)友人・知人に誘われた	0人
4)就職に有益だから	1人
5)保育付きだから	4人
4)その他 (具体的に:)	0人

⑤ 開催時期、曜日、時間帯はいかがでしたか？

1) ちょうど良い	14人
2) 別の時期、曜日、時間帯が良い(具体的に:)	0人

⑥ 就職を考える上で、このセミナーは参考になりましたか？○印とご感想をお書きください。

1) とても参考になった	9人
2) 参考になった	5人
3) あまり参考にならない	0人
4) 参考にならない	0人

- ・新しい働き方があるんだと、希望になりました。
- ・フリーランスという働き方が今まで特殊な方が行うというイメージでしたが、誰でも自分の得意・好きなことを生かして働くことができるのだと知りました。
- ・働くといっても今はいろいろなパターンが本当に増えてることが知れてよかった。
- ・勇気がもらえました！ワークで悩んでいる方、仲間がいることを知れました。
- ・働き方が多様化していることに対応できる自分であることが大切だと思いました。
- ・働き方について情報を得たり、考える機会となった。仕事と育児の両立は無理と言い切ってもらえたのはよかった。

⑦ 今後の就職活動についてどうお考えですか。

1) 現在、就職活動している	3人
2) すぐに具体的な就職活動を始めたい	3人
3) すぐに就職は無理だが、将来的な就職を考えたい	5人
4) 当分就職は難しい。就職は考えられない	0人
5) その他(起業済み、育休中、子育てが一段落したら、働き方を変えたいのでその時に活動したい。)	3人

⑧ 就職に向けて支障となること(不安に感じていること)は何ですか。(2つまで)

1) 子どもの養育、教育	5人
2) 家庭と仕事の両立	3人
3) 家族の理解	1人
4) 勤務条件(給与・勤務時間等)	8人
5) 自分の能力(仕事のブランク、資格やスキルなど)	8人
6) その他(地域活動、ボランティアとの両立、自身の意欲)	2人

⑨「女性が働く」ことについて今後企画して欲しい内容や講師などお聞かせください。

- ・“知りたいこと”今はなかなか分からないので、開催をチェックさせていただきます。
- ・県外の(今回のような)会社様のセミナーも視野が広がりよかったです。また企画してほしいです。
- ・法改正について学ぶ講座。インボイス、フリーランス保護新法、電子帳簿保存法など聞いたことがあるけどわからない、初耳のことを知りたい。
- ・パラレルキャリアを考える講座
- ・最近「収入の壁」の問題が大きく取り上げられていますが、「女性が働く」ということを考えるときに、どうしても既婚女性を想定していることが多いと感じています。単身であっても非正規で働かざるを得ない、社会保険に加入したくても、勤務時間を制限されて加入できないといった問題がもっと取り上げられるといいと感じています。
- ・在宅でできる仕事(自宅で塾を開くなど)の始め方、留意点、可能性、経験談など。

女性のためのキャリアデザイン 自分らしい働き方を見つけるセミナー
 テーマⅠ 多様な働き方を知る
 seminar2 働き方別の社会保険等のルール

令和5年(2023)年10月28日(土)13:30~15:30
 会場:新潟県女性センター 女性団体交流室2・オンライン参加あり

会場参加:14人(申込:18人 当日欠席:4人) アンケート回収:11枚

① 年代	20代	0人	性別:	女	11人
	30代	5人		男	-
	40代	4人		その他	-
	50代	2人		Na	-
	60代以上	0人			

② 仕事をしていない期間をお聞かせください。

10年以上	0人
5年以上	1人
3年以上	0人
1年以上	1人
1カ月以上	2人
働いている	7人

③ セミナーをどちらでお知りになりましたか？

1)チラシ(設置場所:区役所、図書館×2)	4人
2)知人を通じて	1人
3)当財団ホームページ・フェイスブック	3人
4)インスタグラム広告	1人
5)市報にいがた	2人
6)ときっこクラブ アプリ	0人
7)その他(具体的に:)	0人

④ 参加の動機をお聞かせください。(複数回答可)

1)講師に興味があった	2人
2)テーマ・タイトルに興味があった	9人
3)友人・知人に誘われた	0人
4)就職に有益だから	2人
5)保育付きだから	3人
4)その他(具体的に:)	0人

⑤ 開催時期、曜日、時間帯はいかがでしたか？

1) ちょうど良い(午後開催はめずらしくありがたかった)	11人
2) 別の時期、曜日、時間帯が良い(具体的に:)	0人

⑥ 就職を考える上で、このセミナーは参考になりましたか？○印とご感想をお書きください。

1) とても参考になった	6人
2) 参考になった	3人
3) あまり参考にならない	1人
4) 参考にならない	0人
5) NA	1人

・フリーランスを目指していますが、現段階では必要になっていない税や保険のことを先に知ることができ、整理した情報を教えてもらうことができありがたかったです。また、保育つきも助かります。ありがとうございます。不安、モヤモヤが少しずつ解消できています。機会があればまた参加します。

・改めて仕事と私、家庭のバランス、時間の使い方など、考えるきっかけになりました。

・フリーライターの方のお話を聞いて良かったです。

・自分の頭の中の整理がつくきっかけをくれる。

・キャリアデザインを考えるきっかけになりました。

・どの働き方によっても、まずは自分がやりたいかどうか。ライフスタイルに無理なくできるか、生活費が困らないかなどの現実面と両方を、という所がやはり大事だと考えます。その中でも一番大事なのは、何のためにその働き方で働くのか？を明確にします。

・働き方によって変わる税制措置や社会制度について知ることができた。また、このセミナーに参加した方がフリーランスとして働いている実体験を聞いて参考になった。

・今回、2回参加しましたが、家事・育児との両立などのテーマが大きかったので、あまり自分の状況とは合っていないように感じる場所がありました。

⑦ 今後の

1) 現在、就職活動している	5人
2) すぐに具体的な就職活動を始めたい	0人
3) すぐに就職は無理だが、将来的な就職を考えたい	3人
4) 当分就職は難しい。就職は考えられない	0人
5) その他(子どもが自立した後、転職を考えたい。)	2人
6) NA	1人

⑧ 就職に向けて支障となること(不安に感じていること)は何ですか。(2つまで)

1) 子どもの養育、教育	2人
--------------	----

2) 家庭と仕事の両立	2人
3) 家族の理解	1人
4) 勤務条件(給与・勤務時間等)	6人
5) 自分の能力(仕事のブランク、資格やスキルなど)	5人
6) その他(勤務先の人間関係、仕事に対するモチベーションを保てるか)	1人
7) NA	1人

◎ 「女性が働く」ことについて今後企画して欲しい内容や講師などお聞かせください。

- ・女性が自分自身の人生を豊かにするために、どう働くか？年代、ライフステージ別など。
- ・いろんな働き方や働くことのあることがわかってよかった。ありがとうございました。

女性のためのキャリアデザイン 自分らしい働き方を見つけるセミナー
 テーマⅡ 50代からのキャリアデザインを考える
 seminar1 大人女性のキャリアデザイン

令和5年(2023)年12月2日(土)13:30~15:30

会場:新潟県女性センター 女性団体交流室2・オンライン参加あり

会場参加:26人 (申込:29人 キャンセル:1人 当日欠席:2人) アンケート回収:25枚

① 年代	20代	0人
	30代	1人
	40代	7人
	50代	16人
	60代以上	1人

性別:	女	25人
	男	-
	その他	-
	Na	-

② 仕事をしていない期間をお聞かせください。

10年以上	0人
5年以上	0人
3年以上	0人
1年以上	3人
1ヵ月以上	5人
働いている	17人

② -2 6)働いていると回答した方は、いずれの雇用状況で就業されていますか。

正社員	7人
非正規社員	6人
パート・ アルバイト	4人
フリーラン ス・ 自営業	2人
その他	0人

③ セミナーをどちらでお知りになりましたか？

1)チラシ (設置場所:ハローワーク×2、石山地区公民館、ユニゾンプラザ×2、内野図書館、石山連絡所、図書館)	10人
2)知人を通じて	4人
3)当財団ホームページ・フェイスブック	5人
4)インスタグラム広告	4人
5)市報にいがた	2人
6)ときっこクラブ アプリ	0人
7)その他(具体的に:)	0人

④ 参加の動機をお聞かせください。(複数回答可)

1)講師に興味があった	5人
2)テーマ・タイトルに興味があった	23人
3)友人・知人に誘われた	1人
4)就職に有益だから	0人
5)保育付きだから	1人
4)その他 (具体的に:)	0人

⑤ 開催時期、曜日、時間帯はいかがでしたか？

1)ちょうど良い	24人
2)別の時期、曜日、時間帯が良い(具体的に:年末は慌ただしいので。	1人

※ NA 1人

⑥ 就職を考える上で、このセミナーは参考になりましたか？○印とご感想をお書きください。

1)とても参考になった	12人
2)参考になった	12人
3)あまり参考にならない	0人
4)参考にならない	0人

※ NA 1人

- ・人生は長いので、いろいろなことに(未経験の職種など)も選択肢にしようと思った。
- ・今後のキャリアを考える上で、とても勉強になった。手放していくことから少しずつ考えていきたい。
- ・現状の職場にとどまるか、新しいチャレンジをするか迷っている。少し新しいチャレンジの方へ心が動いた。でも・・・。
- ・自分が何を大切にしたいか考えるキッカケになった。
- ・今、就業しながらセカンドキャリアに向けて転職活動しているが、迷うこと、悩むことがあり、モヤモヤしていた気持ちを整理することができ、参加してよかった。
- ・様々な働き方がある中で、人生をどう生きたいのか？に関わってくることだと思った。
- ・「生きがい就労」を考えている最中。資格や今までの経歴からでなく、自分がどれこれからを過ごしていきたいかで考えて行こうと思えた。
- ・自分のやろうとした事を応援してもらえた。情報、意見交換する事で、新たな気づきを得ることができた。まだまだ自分にも何かできる、してよいのだと自信が持てた。
- ・「セカンドキャリア」「サードキャリア」働き方を考えることができ有意義だった。
- ・森先生、とてもすてきだった。年齢も近いので、とても共感した。私もパワーをもらった時間だった。
- ・2時間あっという間だった。(セミナー参加が)少し勇気が必要だったが、リアル開催に出席できて良かった。自分自身をもっと見つめ直したいことと、他の方がどんな考え方で向き合っているかを知れて、いい機会となった。
- ・自分が大切にしたいこと、手放したいことについて見つめなおすことができた。他の方々や講師のお話しの刺激を受けた。
- ・現職と副業を行っているが、起業も考えている。今日は頭の中の整理ができた。
- ・一人で悩んでいたが、同じ悩みを持った人たちとの話し合いはいい刺激になった。

⑦ 今後の就職活動についてどうお考えですか。

1) 現在、就職活動している	5人
2) すぐに具体的な就職活動を始めたい	4人
3) すぐに就職は無理だが、将来的な就職を考えたい	5人
4) 当分就職は難しい。就職は考えられない	0人
5) その他(現在就労中など)	7人

⑧ 就職に向けて支障となること(不安に感じていること)は何ですか。(2つまで)

1) 子どもの養育、教育	2人
2) 家庭と仕事の両立	6人
3) 家族の理解	0人
4) 勤務条件(給与・勤務時間等)	8人
5) 自分の能力(仕事のブランク、資格やスキルなど)	11人
6) その他(年齢、両親の介護との両立)	2人

※ NA2人

⑨ 「女性が働く」ことについて今後企画して欲しい内容や講師などお聞かせください。

- ・家庭と仕事の両立
- ・シニア向けの就職相談、むしろシニアの方が良いという職場だけの説明会など。
- ・森先生に他の講座をしてほしいです。
- ・以前より森先生のセミナーに参加したいとずっと思っていたので、今回実現していただき感謝します。
- ・たくさんの方々の経験談などお話しが聞けると嬉しいです。
- ・家でオンライン等を使って働く方法。(住む場所、時間が自由であるには?)
- ・フリーランスに関するセミナー開催を希望。前回のセミナーは参加できなかったため。
- ・500円～1000円くらいの同じようなセミナー等を開催してほしい。(3000円単位が多いが、500円～1000円なら参加しやすいのではないか)
- ・ハローワークの利用の仕方(マザーではないので)
- ・具体的な就労支援など
- ・男性経営者に女性の家事育児労働を知ってもらいたい。
- ・50代からの起業についてのアドバイスや独身女性の定年後の生活設計(お金面)のアドバイス。

女性のためのキャリアデザイン 自分らしい働き方をみつけるセミナー
 テーマⅡ 50代からのキャリアデザインを考える
 seminar2 大人女性の働き方と、仕事の見つけ方

令和5年(2023)年12月9日(土)13:30~15:30

会場:新潟県女性センター 女性団体交流室2 ・オンライン参加あり

会場参加:17人 (申込:24人 キャンセル:4人 当日欠席:3人) アンケート回収:15枚

① 年代	20代	1人
	30代	1人
	40代	4人
	50代	9人
	60代以上	0人

性別:	女	15人
	男	-
	その他	-
	Na	-

② 仕事をしていない期間をお聞かせください。

10年以上	0人
5年以上	0人
3年以上	0人
1年以上	2人
1ヵ月以上	1人
働いている	12人

② -2 6)働いていると回答した方は、いずれの雇用状況で就業されていますか。

正社員	5人
非正規社員	6人
パート・ アルバイト	1人
フリーラン ス・ 自営業	0人
その他	0人

③ セミナーをどちらでお知りになりましたか？

1)チラシ (設置場所:公民館(石山・内野・燕吉田)、ユニゾンプラザ)	7人
2)知人を通じて	1人
3)当財団ホームページ・フェイスブック	3人
4)インスタグラム広告	2人
5)市報にいがた	1人
6)ときっこクラブ アプリ	1人
7)その他(具体的に:)	0人

④ 参加の動機をお聞かせください。(複数回答可)

1) 講師に興味があった	4人
2) テーマ・タイトルに興味があった	15人
3) 友人・知人に誘われた	1人
4) 就職に有益だから	1人
5) 保育付きだから	1人
4) その他 (具体的に:)	0人

⑤ 開催時期、曜日、時間帯はいかがでしたか？

1) ちょうど良い	13人
2) 別の時期、曜日、時間帯が良い(具体的に: 午前開催)	1人

※ NA 1人

⑥ 就職を考える上で、このセミナーは参考になりましたか？○印とご感想をお書きください。

1) とても参考になった	4人
2) 参考になった	11人
3) あまり参考にならない	0人
4) 参考にならない	0人

- ・時間があっという間に過ぎました。同年代の方とのグループワークで悩みや不安、似ているなど感じました。自分のキャリアを見つめ直すこと、はっきりと自覚することで、それが再就職につながる材料となるんだと再認識しました。
- ・なんとなく選んできた人生を、振り返る機会となりました。
- ・「どんな仕事もどうせやるなら楽しく」という、先輩女性の言葉が印象的だった。
- ・興味、能力、価値観の重なるところを考える。というのが新たな気づきだった。
- ・今後のことをモヤモヤ悩むばかりだったが、まずは一歩踏み出さなければいけないと思った。あとは行動あるのみ。
- ・資料にあったワークをやりたいかった。(先輩の話はもう少し短くてよい)
- ・50代でも転職できるかも、と勇気をいただきました。

⑦ 今後の就職活動についてどうお考えですか。

1) 現在、就職活動している	3人
2) すぐに具体的な就職活動を始めたい	3人
3) すぐに就職は無理だが、将来的な就職を考えたい	5人
4) 当分就職は難しい。就職は考えられない	0人
5) その他 ・定年後、どうしようかと考えていて今から情報を得たい。 ・今の職場を離れるころに活動したい。 ・転職を考えている。なかなか動き出せないが。	5人

※ NA 1人

⑧ 就職に向けて支障となること(不安に感じていること)は何ですか。(2つまで)

1)子どもの養育、教育	0人
2)家庭と仕事の両立	5人
3)家族の理解	2人
4)勤務条件(給与・勤務時間等)	10人
5)自分の能力(仕事のブランク、資格やスキルなど)	8人
6)その他(人間関係がいい職場)	1人

⑨ 「女性が働く」ことについて今後企画して欲しい内容や講師などお聞かせください。

- ・今回のようなキャリアの経歴を聞くインタビューや事例紹介などを入れてほしい。
- ・在宅ワークについて
- ・起業・フリー事業のやり方、現状等の内容。
- ・パート、アルバイト、契約社員、派遣、正社員、様々な働き方の実状。
- ・定年後の再就職者の実体験の話を聞けると嬉しい。本日の話もとても参考になった。

【再就業を目指す女性等のための個別相談会】 アンケート回答

14人参加：回答 14

① 年代をお聞かせください。

1) 20～30代	3
2) 40～50代	11
3) 60代以上	0

② 仕事をしていない期間をお聞かせください。

1) 5年以上	0
2) 3～5年	0
3) 1～3年	2
4) 1年未満	2
5) 働いている	10

③ 相談会をどちらでお知りになりましたか？

1) 財団の就業支援セミナーを受講して	10	
2) チラシ	3	内野図書館
3) 知人を通じて	0	
4) HP・フェイスブック	2	
5) 市報にいがた	1	
6) その他	0	

④ 就職を考える上で、今回の相談会は参考になりましたか？○印とご感想をお書きください。

1) とても参考になった	13
2) 参考になった	1
3) あまり参考にならない	0
4) 参考にならなかった	0

【感想】

- ・何か少しでもいいためになる事が知れたらいいなと思い相談させていただいたので、来て良かったです。やってみようかなと思える情報を教えていただいたので嬉しかったです。
- ・具体的な内容がわかってよかった。
- ・自分1人では気づけない情報をえることができました。ありがとうございました。
- ・お金の不安だけでなくキャリアについても相談ができて今後の自分がやるべきことが明確になりました。
- ・今現在の現状を話すことで自分の中で整理ができました。今後のステップが1つ動けそうです。
- ・今後の生活設計について漠然とした不安が大きかったのですが、考える具体的な道筋が見えたと思います。
- ・色々な職業選択ができました。(派遣、パート、正社員等)
- ・親身になってお話を聞いてくれてとてもうれしく、今後参考にさせていただきたいと思いました。
- ・将来のお金に関することに不安があったがどこに相談すればいいのかわからなかった。今回、相談会があるとお聞きし、実際に具体的なアドバイスをたくさんいただいた。まず、何をやるかが見えた。大変ありがたかったです。

- ・自分のもっている力、可能性などに活かすことができるかも知れないと気づきました。
- ・ハローワークや職業訓練の知識が得られました。

⑤今後、どのような相談に会参加してみたいですか。(いくつでも)

1) 自分のキャリアについて	11
2) ファイナンシャルプラン(お金のこと)について	6
3) 家庭や子育てと仕事の両立について	5
4) 法律問題について	0
5) 就職先の選定について	7
6) その他	1

その他記載：50代、60代の女性の働き方について。就活についてのセミナー

⑥就職に向けて支障となること(不安に感じていること)は何ですか。(2つまで)

1) 子どもの養育、教育	1
2) 家庭と仕事の両立	8
3) 家族の理解	1
4) 勤務条件(給与・勤務時間等)	6
5) 自分の能力(仕事のブランク、資格やスキルなど)	9
6) その他	

⑦「女性が働く」ことについて必要な支援などお聞かせください。

- ・気がねなくいつでも来ていいからね！とウェルカムな優しい先生のいる一時保育や支援センター。また、産後疲れているママが休むことのできる、少しの時間でも預かってくれておいしいご飯をゆっくり食べさせてくれる施設。
- ・働くことを阻害している要因を取り除くこと。
- ・子どもを育てているので、どうしても休みを取る必要があり男性でも女性でも休みやすい職場環境になれるように意識を変えてくれる講習会など。
- ・働き方に関する情報提供
- ・時間とお金。ストレスフリー。
- ・仕事と介護との両立。自身が病気になった時の職場復帰。
- ・今回のような個別相談

講座プログラム

- 事業名：令和5年度 アルザ de カフェ
- 講座タイトル：最も近くて遠い「家族」～程よい距離でつき合うには～
- 対象・定員：どなたでも・各20人 ※応募多数の場合抽選
※それぞれ希望の回のみ参加可能
- 保育：各7人（生後6ヵ月～就学前まで）

学習目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー構造が社会や家族関係にもたらす影響と、「あなた」の問題は「わたし」の問題、私たちの問題は政治の問題として、ジェンダーの視点が必要なことを学ぶ機会とする。 ・法と社会の観点から、家族内におけるジェンダー構造と性別役割分担意識について考える。 ・ジェンダーについてさらに学びを深めることで、男女共同参画推進に関心を持って取り組んでくれる人材を育成する（企画委員、運営委員等）機会とする。 			
行動計画		1-(1)-①-イ、1-(1)-④-ア、4-(2)-①-エ			
回	日時	タイトル	内容	方法	講師・助言者
1	2/16 (金) 10:00 ～ 12:00	家族はシンドイ!?～ジェンダーの視点で家族を考える～	ジェンダーの視点から、ジェンダー構造がもたらす社会や家族関係にもたらす影響について、考える機会とする。 また、「個人的なことは政治的なこと」として、ジェンダーの視点が必要なことを学ぶ。	講義・ グループ ワーク	石橋 明子さん (NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター まど 理事/カウンセラー)
2	2/23 (金・祝) 10:00 ～ 12:00	家族・家庭とジェンダー～法と社会の観点から～	法と社会の観点から、家族について考える。ライフイベント（結婚・離婚・葬式など）と性別役割分担意識のつながりを法律・慣習の視点から考える機会とする。		田巻 帝子さん (新潟大学 法学部 教授)

各回
申込可能

どなたでも

参加
無料

保育
あり

家族について心の内を
話してみませんか

最も近くて遠い「家族」 ～程よい距離でつき合うには～

母(父)との関係が
シンドイと思うのは、
親不孝？

親の介護問題
どうしよう…

子どものために
頑張っているのに
なんでわかって
くれないの？

この「アルザ de カフェ」は、参加者同士で話し合う講座です。
今回は「家族」について、ジェンダーの視点と法と社会の観点から考えます。
なかなか人には聞けないこと、よその家族関係はどうなんだろう等、
みんなでシェアして明るく楽しく話し合いませんか(^_^)

1

2月16日(金)
10時～12時

家族はシンドイ!?

ジェンダーの視点で家族を考える

講師:石橋 明子さん

(NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター
まど 理事/カウンセラー)

2

2月23日(金・祝)
10時～12時

家族・家庭とジェンダー

法と社会の観点から

講師:田巻 帝子さん

(新潟大学 法学部 教授)

会場:万代市民会館3階 307・308 研修室

※ 駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用になるか、公共交通機関でお越しください。

対象:どなたでも

定員:各20人 ※ 応募多数の場合は抽選

保育:各7人(生後6ヶ月～未就学児)※ 要申込

申込:新潟市オンライン申請システム e-NIIGATA
または アルザにいがたへ電話(025-246-7713)

締切:1月29日(月) ※詳細は裏面参照



講師紹介

1

石橋 明子さん

NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター まど 理事/カウンセラー



平成18年(2006年)「NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター まど」の設立に参画し、理事となる。現在は、アルザにいがたでの「こころの相談」のカウンセリング業務ほか、「NPO 法人 子ども・人権ネット CAP・にいがた」のメンバーとして活動している。

2

田巻 帝子さん

新潟大学 法学部 教授



宮城県仙台市生まれで新潟市・新潟大学出身。専攻は法(ルール)と社会の関わりあいを探る「法社会学」で、特に「家族」をテーマとして英国法との比較研究、ジェンダーやセクシュアリティの視点からの研究を行っている。教育面では「法社会学」の他に英語で行う「日本の家族法と社会」や「ジェンダー論」などの授業科目を担当している。

お申し込み方法

1月29日(月)締切

スマートフォンから

電話で



二次元コードを読み取ると
「新潟市オンライン申請システム e-NIIGATA」
につながります

025-246-7713
受付時間:8:30~17:30
月曜~金曜
(12/29~1/3、祝休日は除く)

PCから

新潟市 HP から を検索

〈新着情報〉の講座情報へ



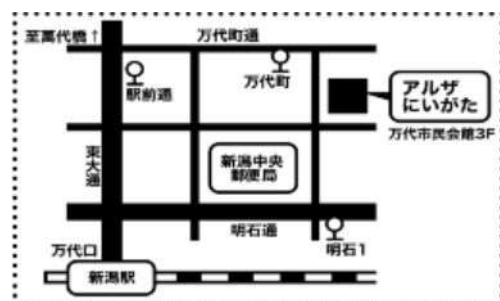
問
い
合
わ
せ



〒950-0082
新潟市中央区東万代町 9-1(万代市民会館3F)
TEL:025-246-7713
FAX:025-246-8080
E-mail:alza@city.niigata.lg.jp



アルザにいがた HP

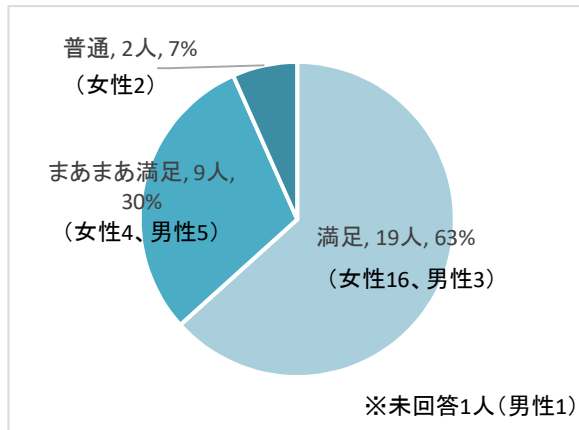


◆新潟駅から徒歩7分。駐車場がありません。周辺の有料駐車をご利用になるか公共交通機関でお越しください。

令和5年度 アルザdeカフェ
最も近くて遠い「家族」～程よい距離でつき合うには～

回	日	テーマ	講師	応募者数	受講者数
1	2/16 (金)	家族はシンドイ!? ジェンダーの視点で 家族を考える	石橋 明子さん (NPO法人 新潟フェミニストカウンセリン グセンター まど 理事/カウンセラー)	20人	16人
2	2/23 (金・ 祝)	家族・家庭とジェンダー 法と社会の観点から	田巻 帝子さん (新潟大学 法学部 教授)	21人	17人

問1 講座はいかがでしたか。



- ◆延べ参加人数:33人
- ◆アンケート回答者数:延べ31人
- ◆平均受講者数:16.5人
- ※アンケート未提出者2人

満足+まあまあ満足 93.3%

(女性90.9%、男性100%)

※満足度は、第1,2回の延べ人数で算出

問2 講座の感想(第1回:●女性、■男性)

◆満足

- 「家族は〇〇が当たり前」のようなことが今回話し合いの中で、当たり前ではなく、自分で相手と一緒に作っていくことが大切だなと改めて思いました。
- グループワークが数回ある時は、グループ移動しても面白いと思う。男性が4人も参加されたことにおどろく半面、うちの夫と比べてしまいました。
- 夫との間で境界線をひいて良い事が分かり、良かったです。境界線を持つことで罪悪感を持つ必要が無い事がうれしかったです。
- 男の役割や女の役割について、偏見や社会のしくみでつくられているものが増えてしまっていることを整理できた。家族はいろいろあっていいという考えに救われた気持ちになった。ありがとうございました。
- とても充実した2時間でした。専門的なことから身近な事へとその流れにのって本当に楽しく、良い時間を過ごせました。思った以上に(!?失礼)素晴らしい講座でした。ありがとうございました。
- 家族という密室というシビアだけど、それはきっとよりよい密室という空間であるために、やっぱり家族といえども物理的、心の距離を置く事が大事で、これからも自分の事を優先しながら、家族と接したい。グループワークがよかったです。みんなそれぞれの意見や共感があった。
- 普段の自分の考え、行動について、見直していかねばと考えさせられました。本日はありがとうございました。
- 学びと気づきの多い時間となりました。ありがとうございました。
- 女性らしさで他者優先が美德、自分の事は罪悪感として捉えるという事を知り、自分がそうなのはこういうことだ!!としっくりきました。私を知るワークでは、自分を知ることができました。一番大切なのは、自分を大切にすることだとわかりました。

問2 講座の感想(第1回:●女性、■男性)つづき

◆まあまあ満足

- 20年前に子どもが生まれてすぐ母親学級でジェンダーについて講義を受け本当に少しずつ変化したなと思うと同時に社会全体では、まだまだと思います。すりこまれて子ども達は教育の中にいる為、男性女性関係なく人間同士を思うやる心であり続けたいです。※グループワークは10分位ほしいです。
- ジェンダー:まだ理解できず
- マスク聞きにくい、声が小さい
- 家族の形がいろいろあって、和気あいあいとならなくてもよい

◆普通

- 講師の方のお話がとてもわかりやすくて聞きやすかった。
- グループで、家族の事を話したが、その時間がもっと欲しかった。「家族」について、講師の方から、もっと聞きたかった。

問2 講座の感想(第2回:●女性、■男性)

◆満足

- 田巻先生のお話初めてでしたが、大変ためになります。あと数時間ききたいくらいでした。また機会があれば参加します。
- 自分を大事に+(プラス)自分同様に他者も尊重する事が大切だと分かりました。
- 普段お話をする機会のない方とお話できて良かったです。
- 田巻帝子先生の講義が素晴らしかったです。グループワーク1,2では、自分と異なる考え、意見、発想に触れることができ、有難かったです。
- 家族のあり方が明確でわかりやすかった。
- 女ばかり、介護にとらわれなくていい、止むを得ず、親etcの介護時も、他者を頼ればいい。そして楽しく介護していけばいいと思いました。主婦も、半分でも主夫で充実している男女を認めてあげればいいのと思った。
- 先生の講座内容もとてもおもしろく、考えさせられる内容でした。またグループワークで様々な視点、考え方を知ることができてとても充実しました。
- 明治民法という考え方を知り、とても有り難かった。今の時代にも大きく影響していると感じた。
- 久しぶり(4年振り)に参加できて、(ジェンダーについて考え共有できて)よかった。
- 法律にうかつたので、とてもおもしろかった。法的に定められ、守られてなかった権利もあったし、すりこまれて(影響を受けた)家族観や、ジェンダーの役割があったのだろうとわかった。ありがとうございました。

問2 講座の感想(第2回:●女性、■男性)つづき

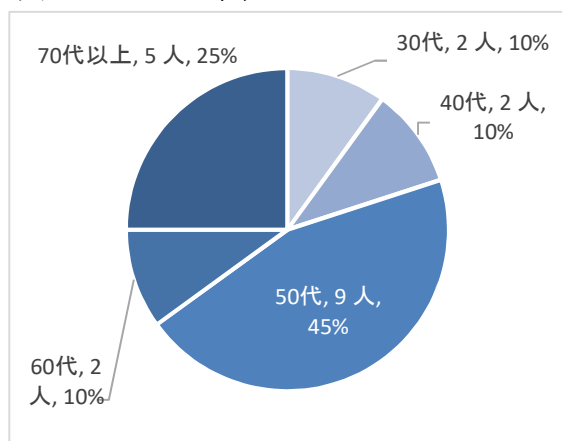
◆まあまあ満足

- 世の中の変化(考え方)についていくのは大変？遅れない様、努力します。
- グループワークで色々話せました。介護については制度を知っていると負担を少なくできる。結婚してない子への悩みもあるようでした。もっと回数が必要だと思いました。
- グループワークが短くなってしまったが、別々のグループで顔ぶれが違くと新鮮でよかった。

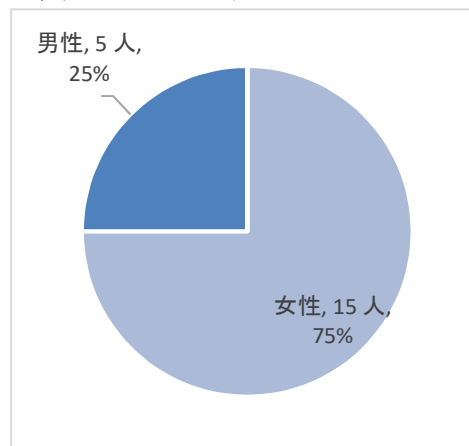
◆未回答

- ジェンダーの法と社会について大変勉強させられた。大変良かったです。

問3 あなたの年代は？



問4 あなたの性別は？



問5 ジェンダーについて、思うこと・感じていることがありましたらご記入ください。

(●女性、■男性)

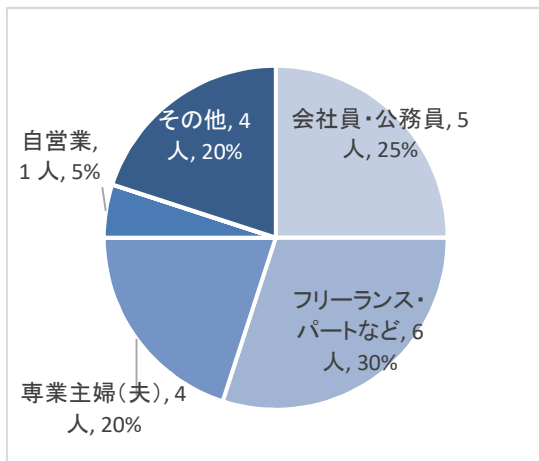
- 兄妹間で、親からの期待に大きな差があり苦しんでいます。(介護、家事手伝い)
- 目立つ所は男性、補助的な所は女性が担っていることを改めて知りました。ジェンダーについてまた学びたいと感じました。
- 書ききれないほどあるのでまたの機会に。
- 男女差だけがこの世の問題？人口減はどうするのか？
- 家族間でジェンダーギャップがあるように思います。
- 親の世代より変化はしていると感じますが、私の友達の中にはまだまだ男は料理しない自分が沢山がんばるのが仕方ないと考えていて、女が女を認めていないと感じる時があります。男性も家の中の事をする事で介護の協力につながると感じました。

問5 ジェンダーについて思うこと つづき

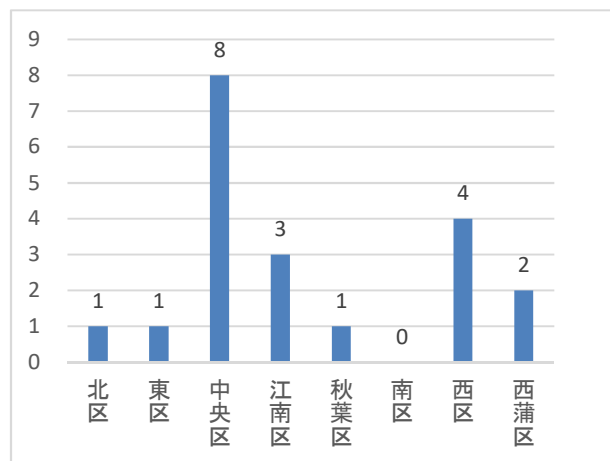
(●女性、■男性)

- 家族とは何かについて考えさせられました。介護とジェンダー問題に対し、色々な話しを聴き参考になりました。もう少しグループワークの時間が欲しかった。
- 個人的にはないが、社会的にはあると思う。
- 女性・女の子はお人形さんみたいになればいいのか、すごく嫌だったけどYOASOBIの大ヒット曲「アイドル」はしたたかもまっすぐなしなやかな女でカッコイイと思っています。
- いちばんは、自分の中にこうあらねば、みんなこうやって生きてきた、夫の親せきとはうまくやっっていかなねばとか、ストッパーがかかっていることに気づかされた。
- 男子〇〇がないのに女子〇〇があること。学生の間は男女の区別なく(ないわけではないけど偏見をなくそうとしている)活動しているのに社会ではとても難しいと思う。
- 無意識の偏見→特に上の世代にある。生き辛くなってしまうので、たくさんの情報発信をして、ジェンダーについて考えてもらいたい。
- この20年変わっていること、変わっていないことがあるなあと感じました。

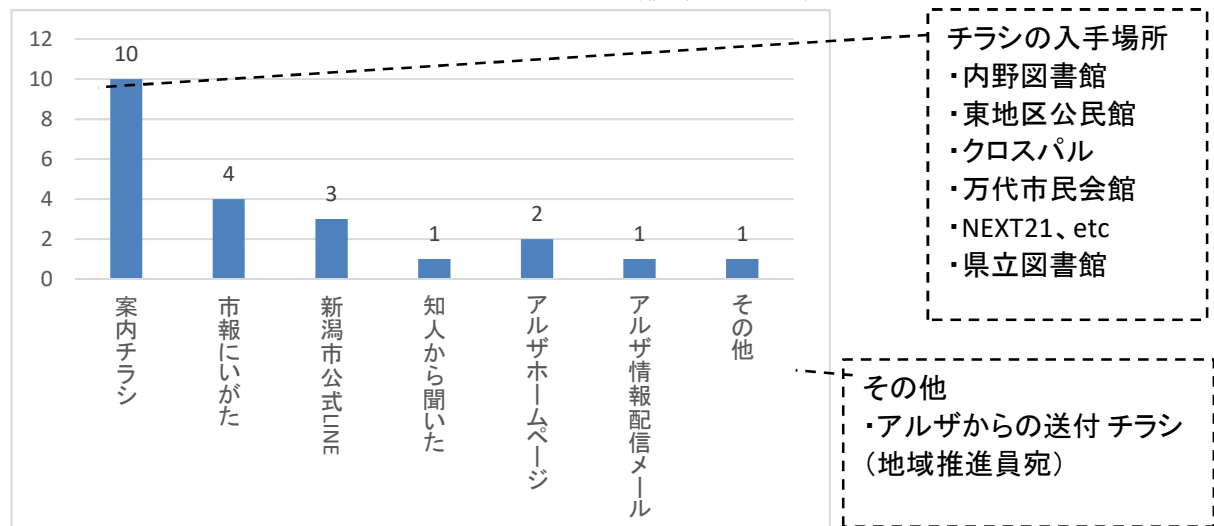
問6 あなたの現在の状況



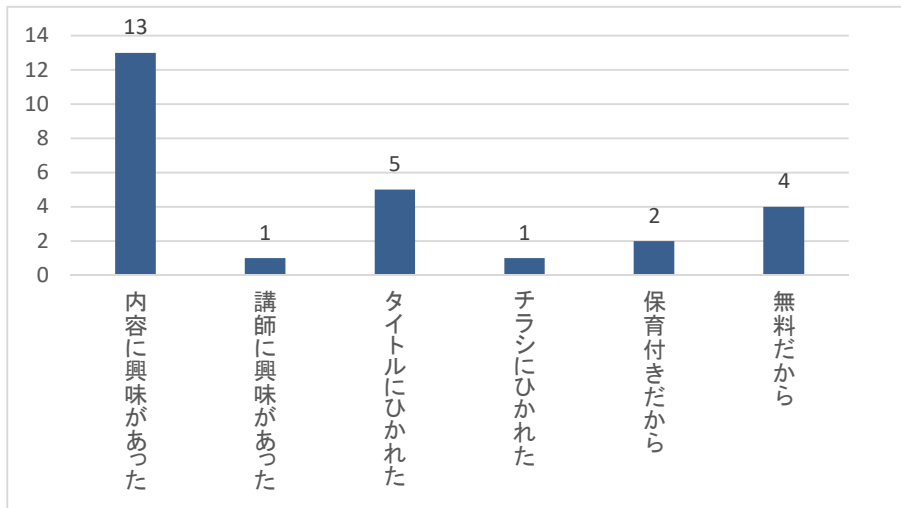
問7 あなたのお住まいは？



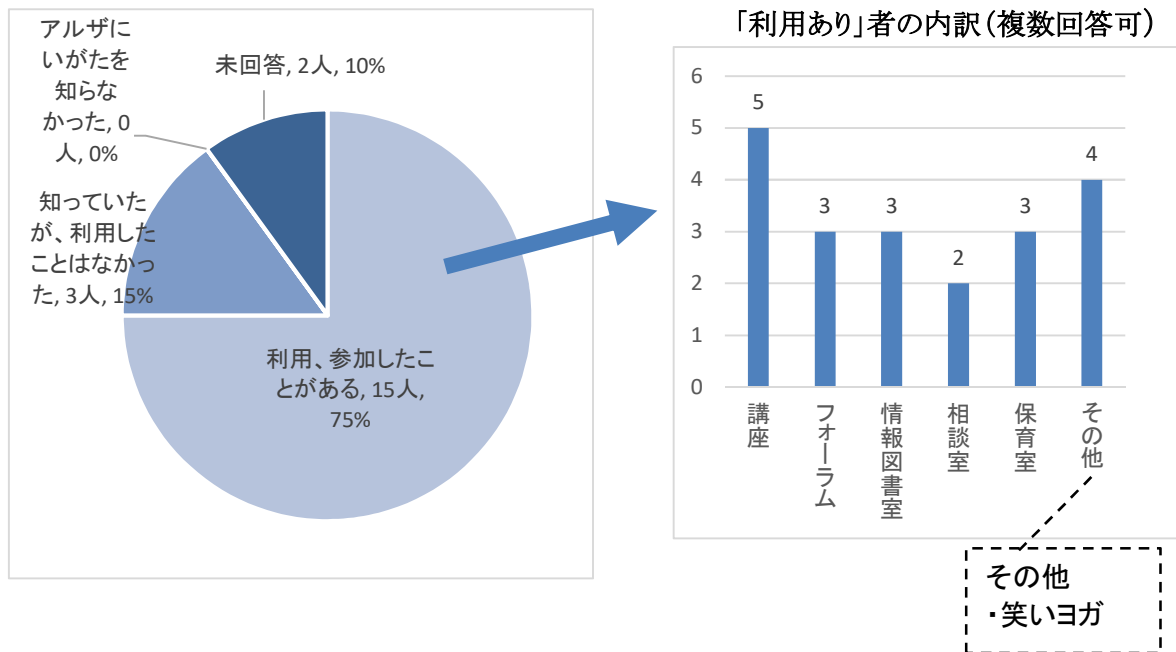
問8 今回の講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)



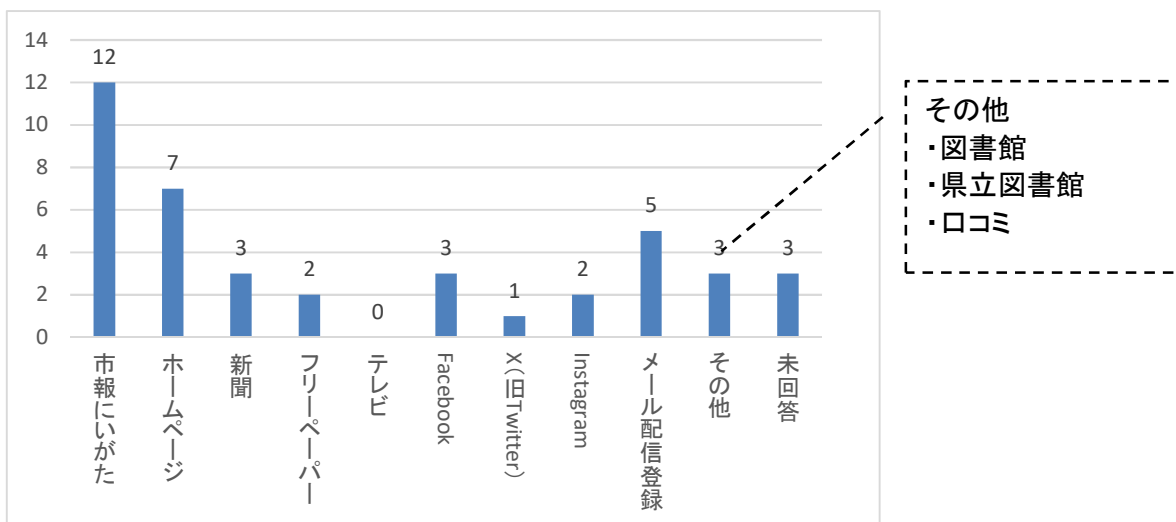
問9 参加された動機は何ですか？(複数回答可)



問10 今回以前にアルザにいがたを利用したことがありますか？



問11 アルザに限らず、普段あなたは講座に関する情報をどこから入手していますか？(複数回答可)



問12 男女共同参画について、今後企画してほしい内容や講師(●女性、■男性)

(第1回)

- 兄弟姉妹と親との関係

ジェーン・スーさん(コラムニスト。「生きるとか死ぬとか父親とか」「彼女がそこにいる理由」など著書多数)男女共同参画を掲げていてこの人を招かないのは今時モグリです。

(第2回)

- 人生を楽しく生きるテーマに子育て後の楽しみ方、仲間づくりなど案があるといい。ひとり旅に行っても楽しいなど、自分らしさの楽しみ方。介護や子育てはいつか終わるので。
- もはや、アルザさんなら誰でもいいのですが、女のスペースの大原やえ子さんがいいです。彼女は鋭い!!
- 職場による男女の差、扱いに大きな違いがあると感じる。職種による違いや、たくさんの実体験を聞きたい。
- 上野千鶴子さん

問13 新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」についてのご意見ご感想など、ご自由にお書きください。(●女性、■男性)

(第2回)

- これからも役立つ講座を期待しています。ありがとうございました。
- 2回参考し、ありがとうございました。
- アルザの主催講座に通って、ついに、より深い家族の距離感や、介護問題を取り扱ってくれて本当に良かったです、生きづらいけどがんばりたい。
- いつもありがとうございます。
- これからもジェンダー学のとりでとして活動してってください。
- こうした企画、ありがたいです。勉強になりました。

令和5年度 第2回 新潟市男女共同参画推進センター 登録団体交流会

プログラム

1	日時	令和5年12月10日（日）午前10時～12時
2	会場	万代市民会館3階 307・308 研修室
3	内容	<p>1. 開会あいさつ</p> <p>2. ジェンダーについての講義 講師：指田祐美さん（NPO 代表）</p> <p>3. グループワーク （こういう事例をどう考えますか？ジェンダーの課題について、グループ内で話し合い、最後に全体でシェアします。）</p> <p>4. アンケート記入</p> <p>5. 閉会</p>
4	その他	<p>各団体のPRチラシなど、出席者に配布したいものがありましたら、事前または当日にご持参ください。 （参考：近年の出席団体数は概ね20～25団体です。）</p> <p>今回は研修を兼ねておりますので、登録団体の活動事例発表はありません。</p>

令和5年度 第2回 新潟市男女共同参画推進センター利用登録団体交流会 アンケート集計結果

令和5年12月10日(日)10:00～12:00

万代市民会館3階 307・308研修室

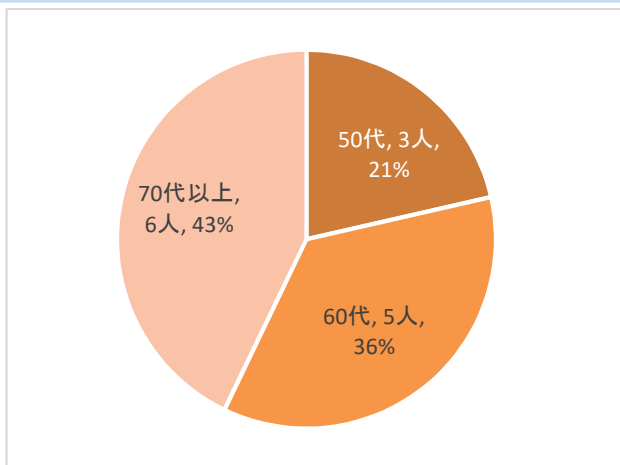
参加数:15団体15人(女性11人:男性4人) アンケート回答者数:14人

※途中退席者がいた為、アンケート回収は1人減

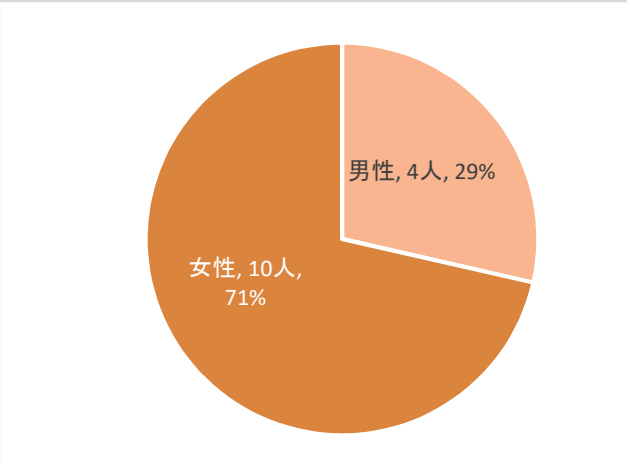
問1:本日の登録団体交流会全体について、ご感想をお書きください。
(ジェンダーについての講義や、グループワークについて)

- ジェンダーの知識を学ぶ回としては良かったと思います。ただ、団体交流会なので、各団体の活動を知る機会がなかったので残念。団体交流会の目的について、検討していただけたらと思います。
- わかりやすかった
- ジェンダーについて理解が深まりました。ありがとうございました。自分を変えることが社会を変えることになるよう一歩ずつとりくみます。
- 楽しくわかりやすい話で良かった。各グループの方々も内容良く今回も参加して良かったと感謝です。
- とても勉強になった。
- 講義とワークが連動していて、時間を有意義に使えた。「ジェンダー」というテーマが良かった。
- 女性の考え方が少し理解出来た。
- 講義、わかりやすかった。若者の様子が少し見えた。ワークは話しを聞きながら進められ、楽しくやれた。
- 様々な意見を聞いてよかったです。講師の話も参考になりました。
- 指田さんのお話がとてもわかりやすく良かったです。グループワークも色々な意見が聞けて有意義でした。
- 講師の先生がすばらしかったです。
- 日頃、気づけないことを教えていただきました。ありがとうございます。

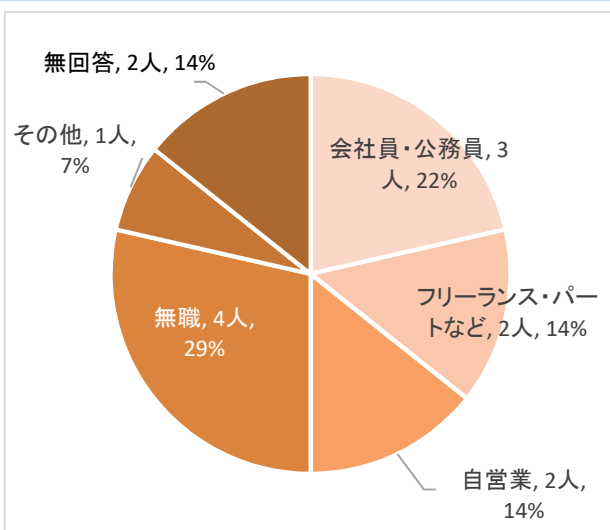
問2:年代



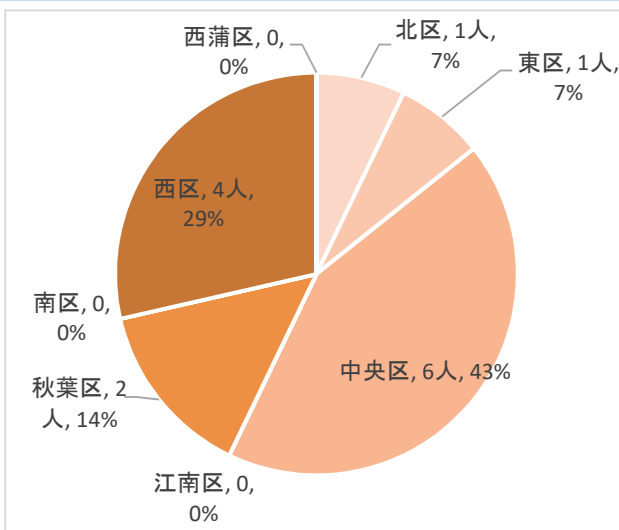
問3:性別



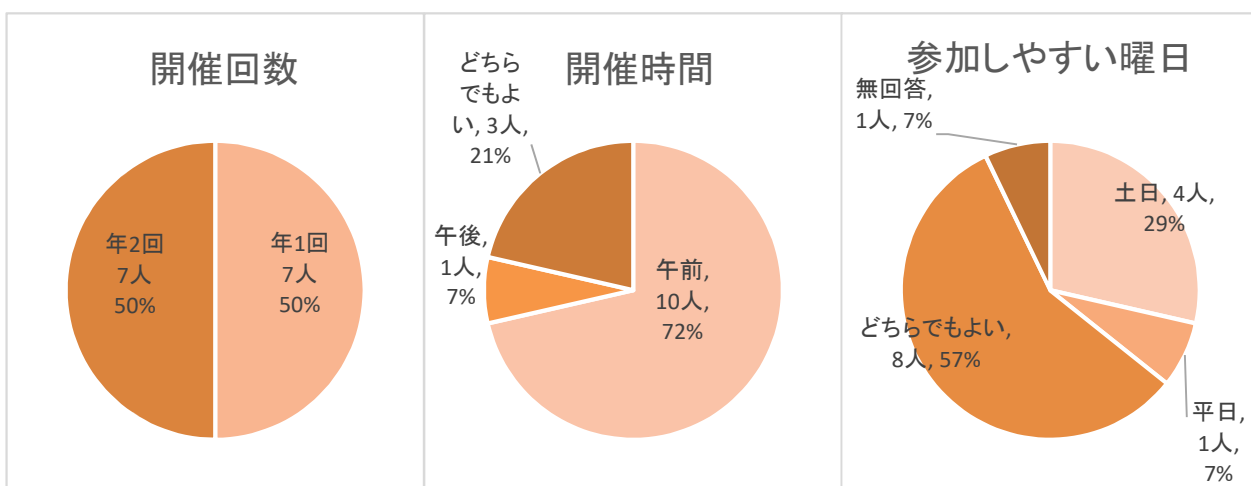
問4:現在の状況



問5:お住まい



問6:今後の登録団体交流会について、ご要望などがありましたらお書きください。 (開催時期・開催回数・平日/休日 内容・講師など)



内容について

- にいがた女性史クラブの方から、「ジェンダー」を理解する機会として話してもらいたい。登録団体の中で実績が一番ある団体なので。
- 斬新な視点を提供してもらいたい。「講演」とワークを関連させるもの。
- LGBTQ共同参画
- 中・高・大学生の意識、ジェンダー意識
- 楽しい交流でした。
- また同じようなジェンダーについて(定期的に深める)
- 男女共同参画に関する最新の情報を教えていただきたいと思います。

問7:「アルザにいがた」、新潟市の男女共同参画について、ご意見・ご要望などがありましたらお書きください。

- いつもていねいに団体活動のために支援していただき、ありがとうございます。
- 登録団体交流会ですので、テーブル内でもかまいませんので各団体の紹介や自己紹介があるとよかったですと思います。
- 開催は平日の午前でお願いします。土日は冠婚葬祭、イベントなどが重なりますね。
- 駐車場(隣)の無料開放
- 来年度の目標もできて嬉しかったです。ありがとうございました。